

第 VII 地 区

され、発見されたほとんどのものは刻々と変化する中間形態と把握される。なお、機能の中には未分化なものを多分に含んでいる可能性があり、用途等の違いが全くなかったことを意味するものではない。

註(1) 「西田遺跡」(前掲) 「大館町遺跡」(前掲)

6.まとめ

当調査区は他地区と同様、土取り作業中に発見されたもので、取り残された限定された地域である。従って不確定要素を多分に含んでおり、遺跡全体の性格に言及できるものではない。しかし、今後調査によって資料の増加は望めなく、限られた資料ではあるが、その一端に触れることにする。

調査地内からは竪穴住居跡3棟と炉跡、焼土遺構が4例発見されており、集落を形成していたと見られる。その範囲は確認すべくもないが、約50m離れた第IV地区においても竪穴住居跡が発見されており、おそらくは続いているものと推測される。また、遺物の分布によっては南方に連なることが予想され、少なくとも東西約130m、南北約30m以上に広がっていたと考えられる。すると住居地域は夏油川によって形成された扇端部に位置していたことになり、段丘崖に添って占地していたことになる。その時期は土器によると縄文時代中期前葉から中葉にかけてであり、竪穴住居跡の中には建て替えられたと考えられるものがあって、ある程度の時間差を有するものと見られる。

その後、竪穴住居跡を破壊する状態で住居地域とオーバーラップして、遺物包含層が形成されたと見られる。包含層遺物は住居跡遺物と同様、縄文中期前葉から中葉にかけてのものが主体をなし、若干早期末から前期初頭のものが混入している。その供給地は竪穴住居跡等が考えられ、特に、遺物の分布密度から調査地南方に求められる。その原因には人為的行為（廃棄の場）を否定するものではないが、洪水等が想定される。

なお、時代が下って、中世から近世にかけてはその一部に墳墓群が築成され、遺物包含層が攢乱されて、遺物が封土に集中している。以上のことをまとめると次のようになる。

- ①当調査地は集落の一部分ではなかろうか。
- ②その後、洪水等によって竪穴住居跡が埋没し、同時に遺物包含層が形成されたものではなかろうか。
- ③そして、中世の墳墓群が築成されるまで、顧みられることがなかったものではなかろうか。

図 版

第 I 地区

左 1号焼土遺構

焚口から

右上 1号焼土遺構

横断面

右下 1号焼土遺構

焚口付近出土环



2号焼土遺構



3号焼土遺構



1号機立柱建物跡
北方から



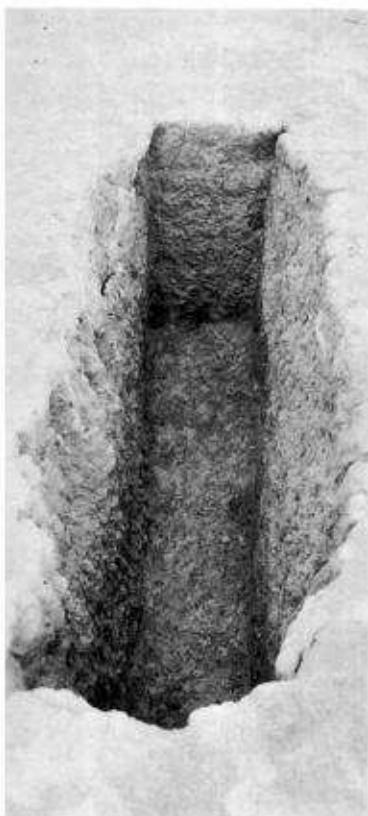
2号機立柱建物跡
南方から



3号機立柱建物跡
北方から

第II地区

1



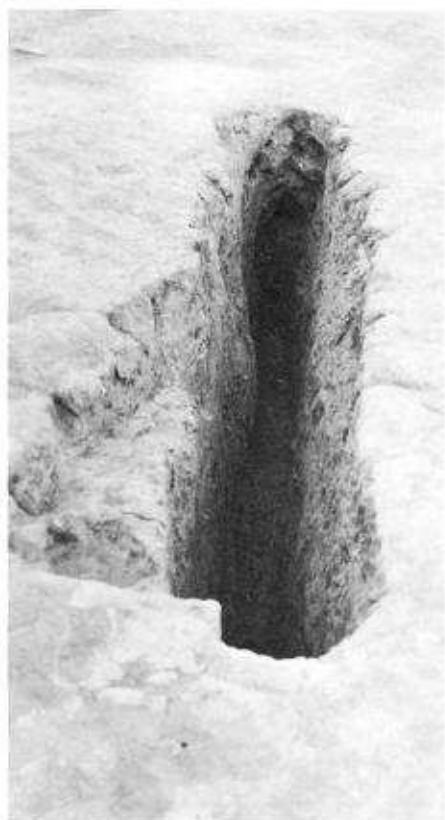
2



3



4



5



1. 1号溝状土壤

2. 2号溝状土壤

3. 3号溝状土壤

4. 4号溝状土壤

5. 5号溝状土壤



円形土壤
1号・2号



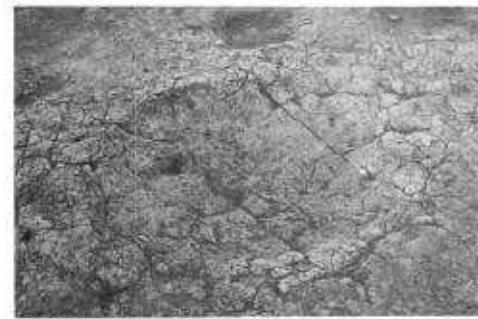
3号・6号



7号・8号



13号・14号



15号・17号

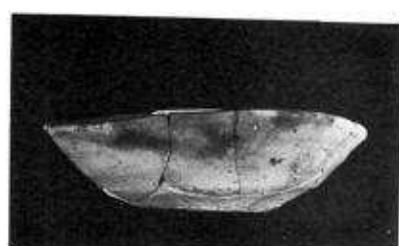


灰原坏出土状况



2号窯

1号窯



灰原出土坏

2号窯隔壁

左侧 焚口方向

右侧 窯本体



2号窯焚口付近

灰原 埋土状况



第Ⅳ地区



I号住居跡
南方から



I号住居跡炉断面



I号住居跡埋設土器

右

2号住居跡 北方から

炉No. 1

炉No. 2



左 2号住居跡

埋設土器

左 1号土壤

右 2号土壤

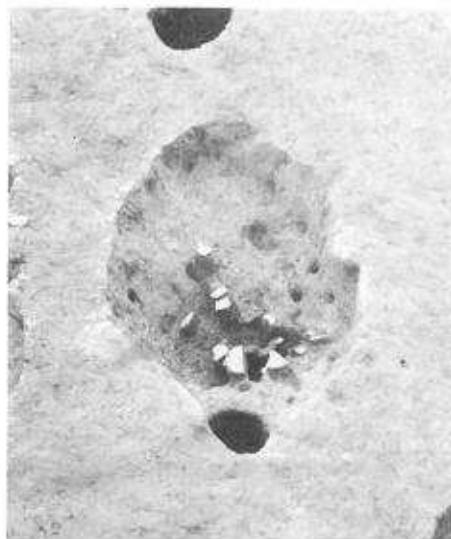


左

5号土壤

右

3号土壤





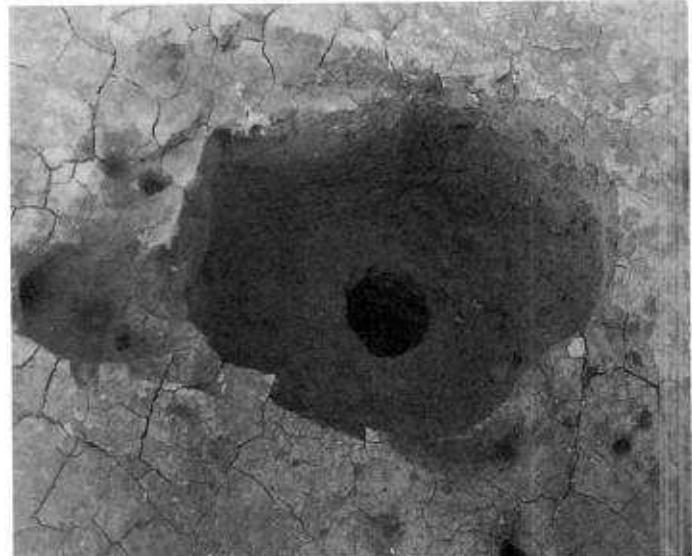
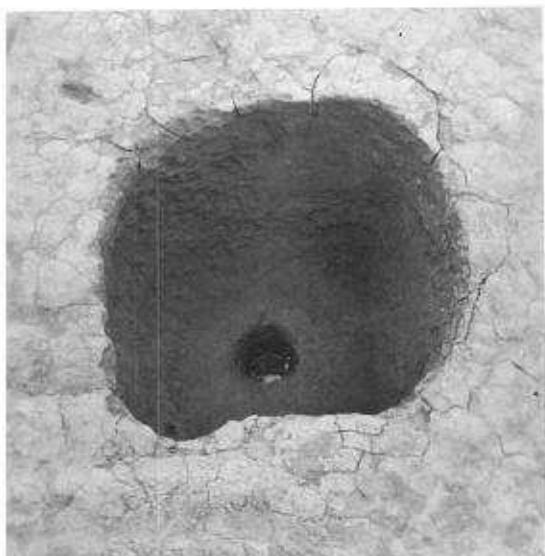
6号土壤

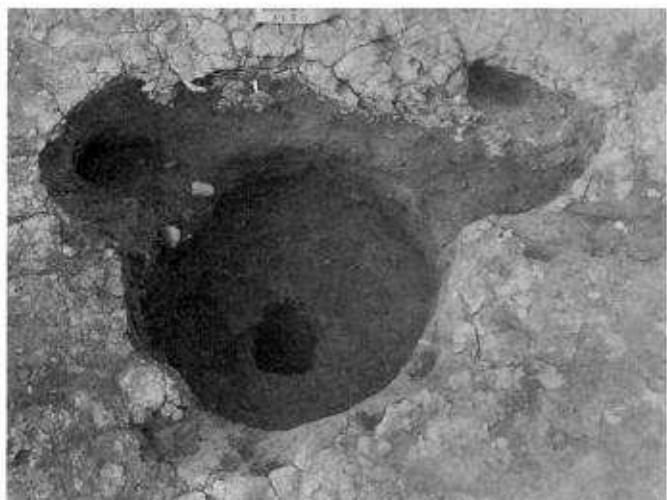


左
12号土壤
右
13号土壤



左 14号土壤
下左
15号土壤
下右
16号土壤





17号土壤

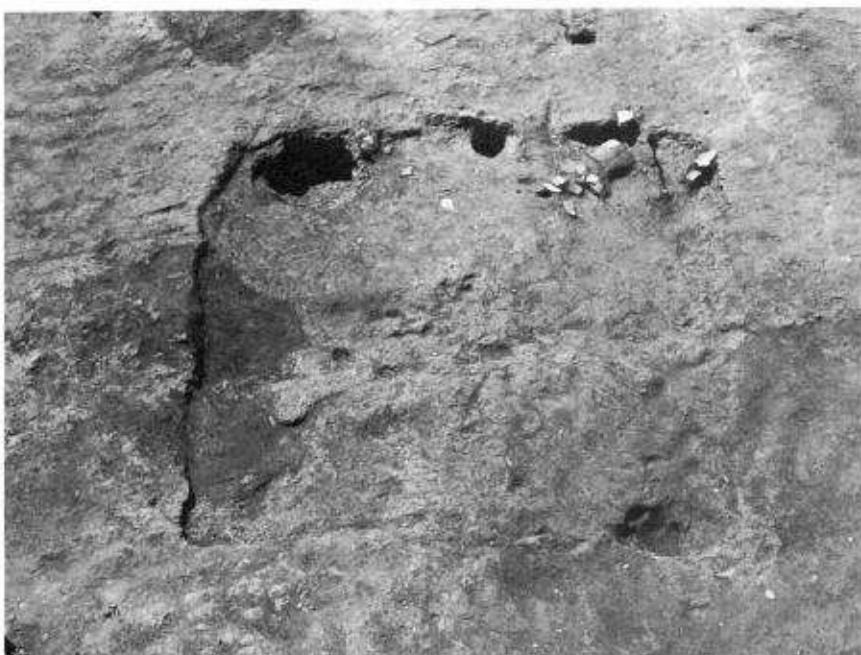


18号土壤

5号住居跡
北方から



4号住居跡
北方から



7号住居跡
北方から



7号住居跡
かまど付近
遺物出土状況

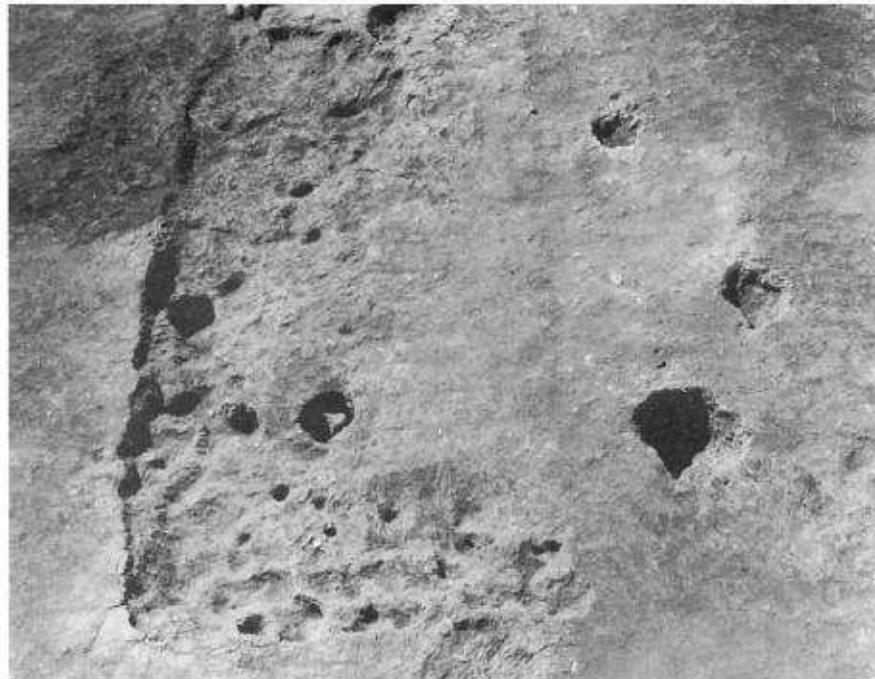


8号住居跡
南方から



9号住居跡
東方から

10号住居跡
北方から



下
墓壙
永楽通宝出土状況



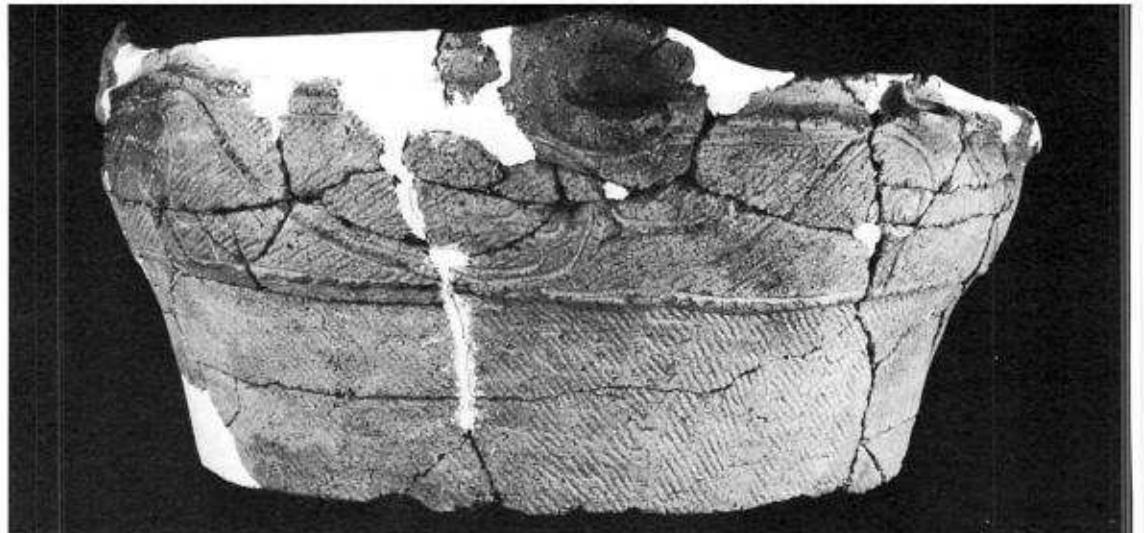
20号土壤



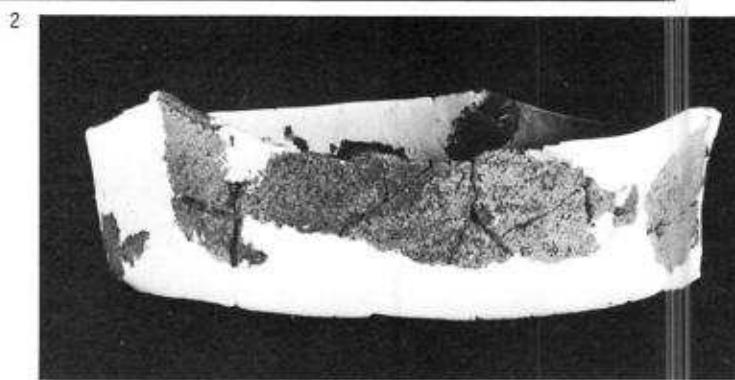
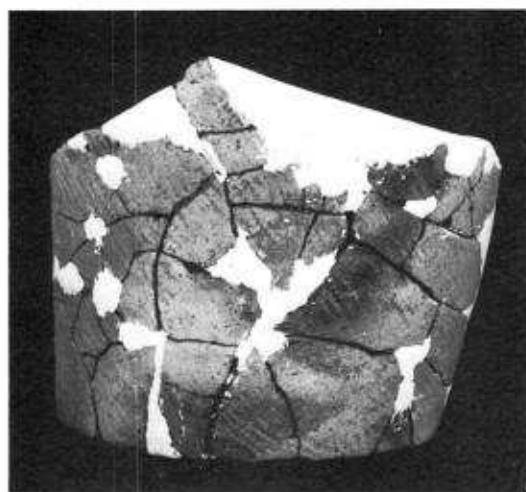
上 墓壙

22号土壤





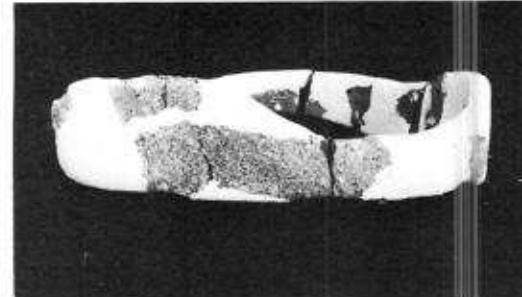
3



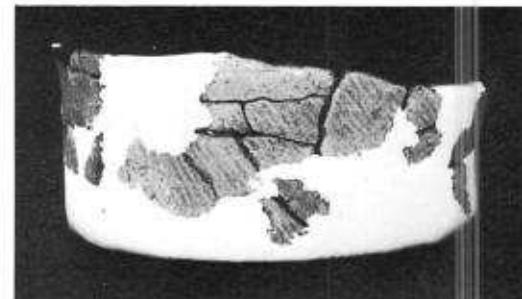
4



5



6



1. 1号住炉埋設土器

2. 1号埋設土器

3. 2号住炉埋設土器(No.1)

4. 2号住炉埋設土器(No.2)

5. 2号埋設土器

6. 1号埋設土器

S = 約 1/4



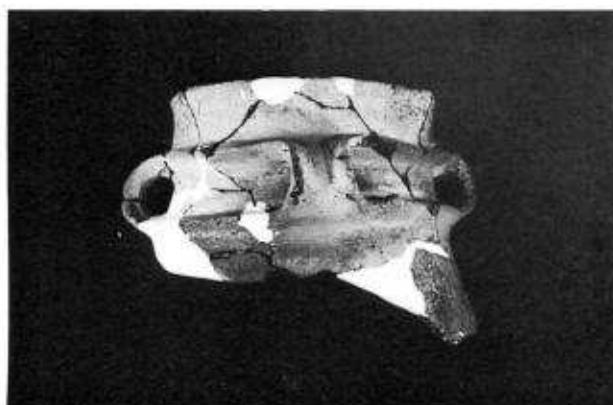
1



2



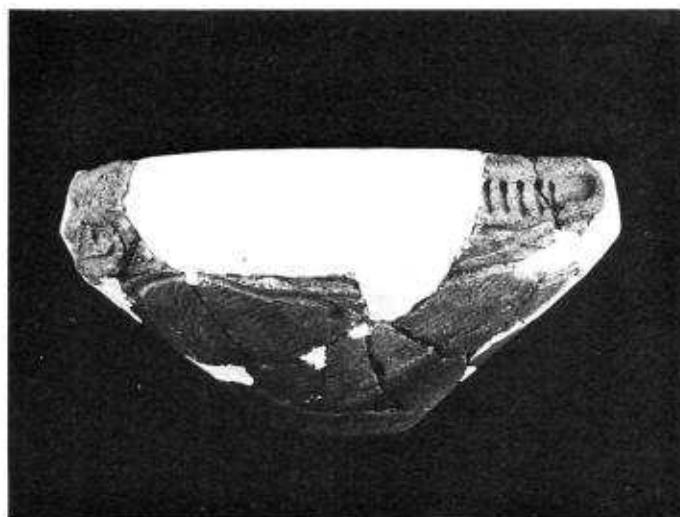
4



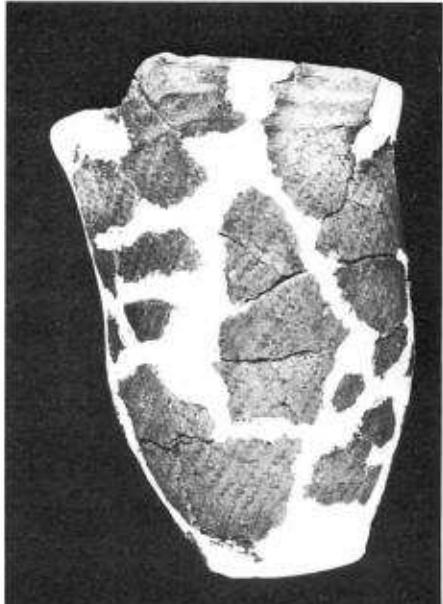
5



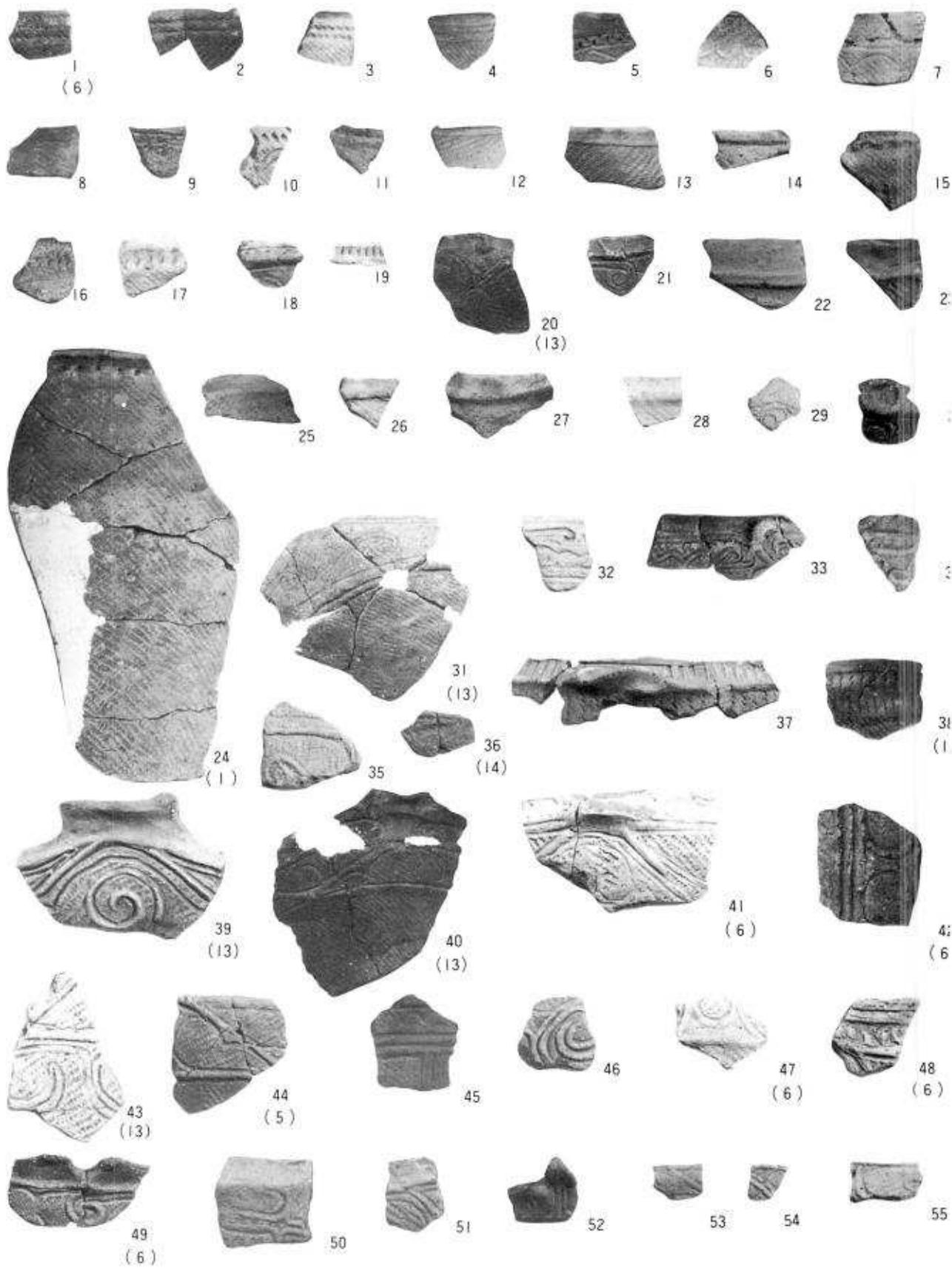
6



7



1. 2号埋設 S=約1%
2. 4号土壤出土 S=約1%
3. 1号土壤出土 S=約1%
4. 2号土壤出土 S=約1%
5. 4号土壤出土 S=約1%
6. 6号土壤出土 S=約1%
7. 13号土壤出土 S=約1%

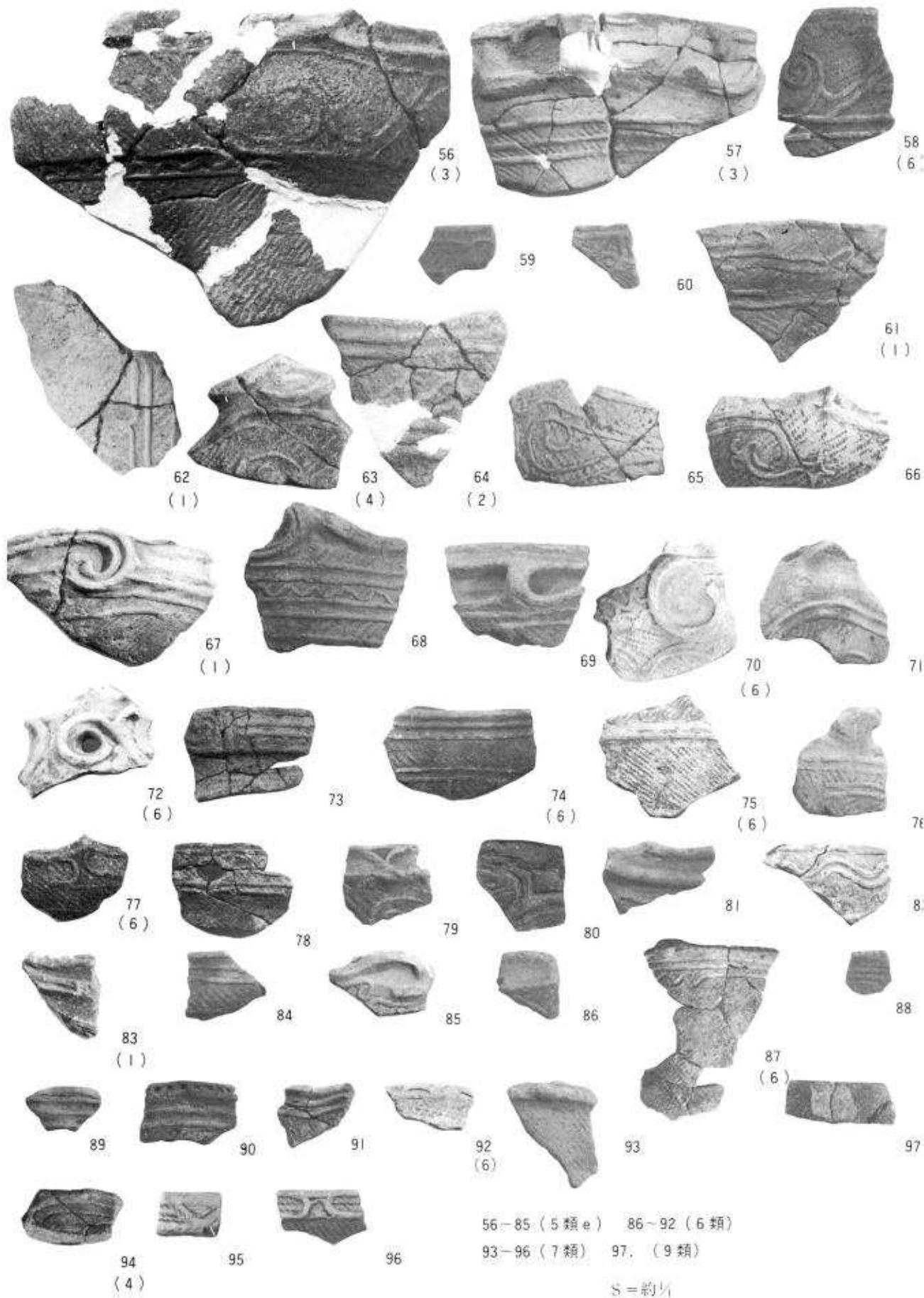


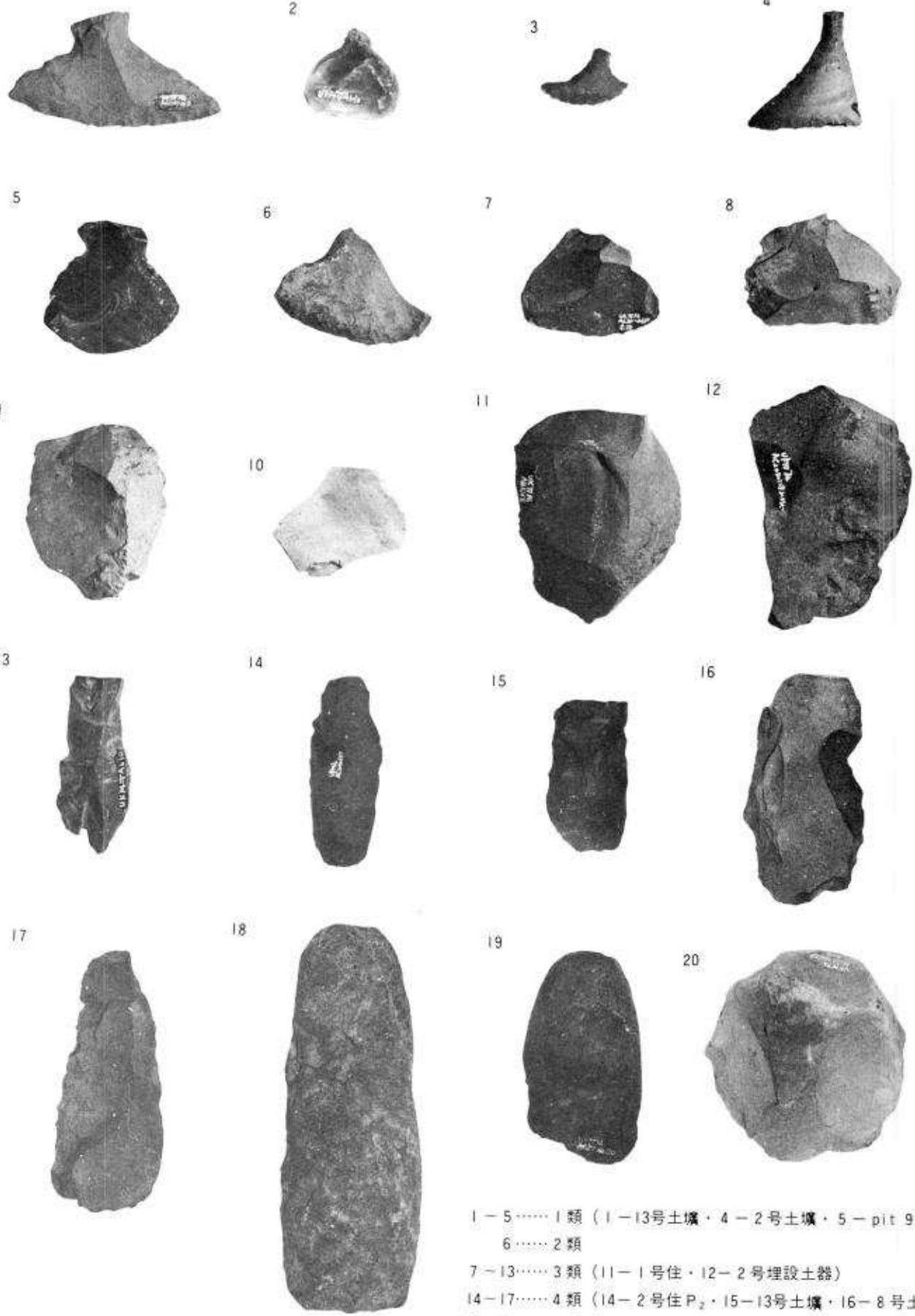
1 ~ 3 (1類) 4 ~ 11 (2類) 12 ~ 15 (3類) 16 ~ 17 (4類a)

18 ~ 19 (4類b) 20 ~ 28 (4類c) 29 ~ 30 (5類a) 31 ~ 34 (5類b)

35 ~ 38 (5類c) 39 ~ 55 (5類d)

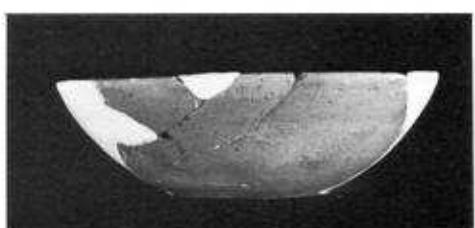
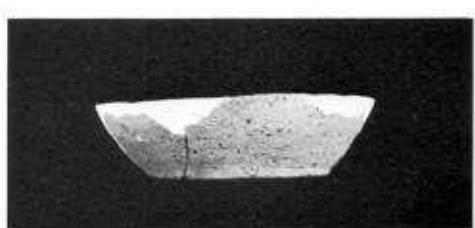
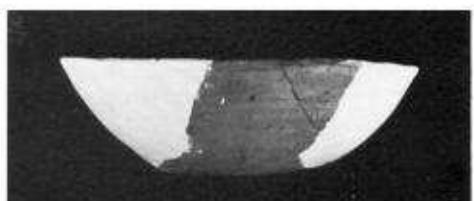
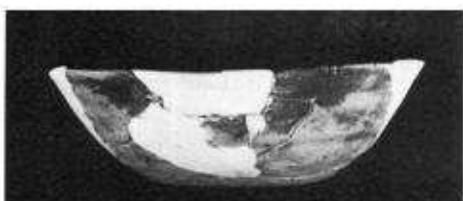
※()内は土壤ナンバーを示す



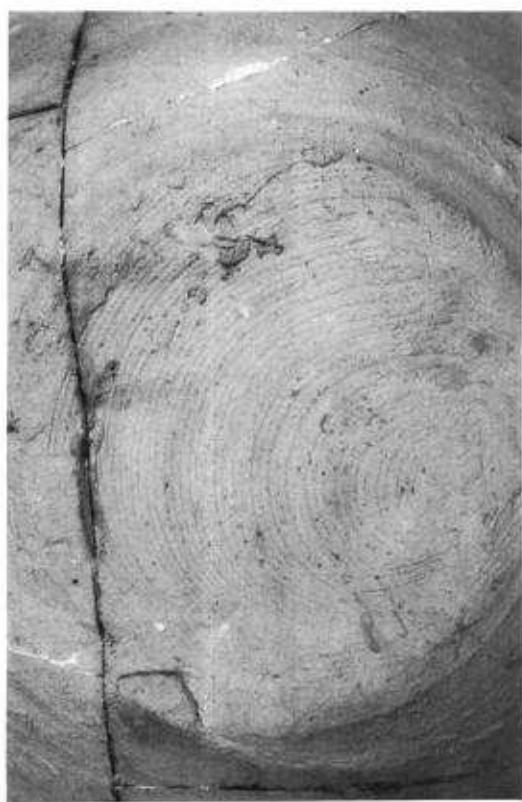


1 - 5 1類 (1 - 13号土壤・4 - 2号土壤・5 - pit 9)
 6 2類
 7 - 13 3類 (11 - 1号住・12 - 2号埋設土器)
 14 - 17 4類 (14 - 2号住P₂・15 - 13号土壤・16 - 8号土壤)
 18・19 5類 (18 - 4号土壤・19 - 6号土壤)
 20 6類 (6号土壤)

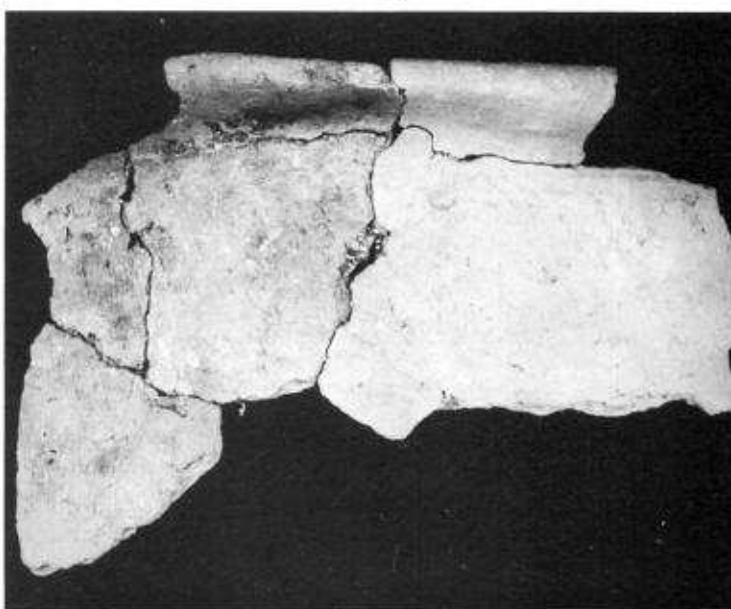
S = 約 3%



9



10

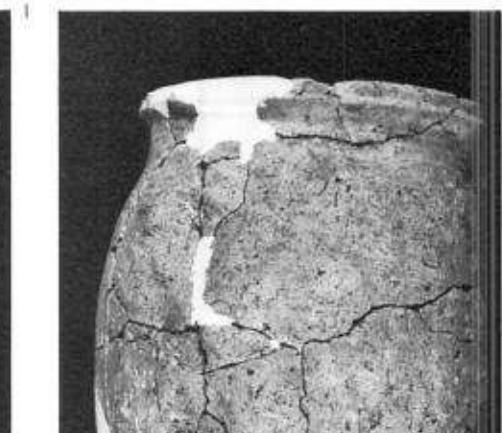
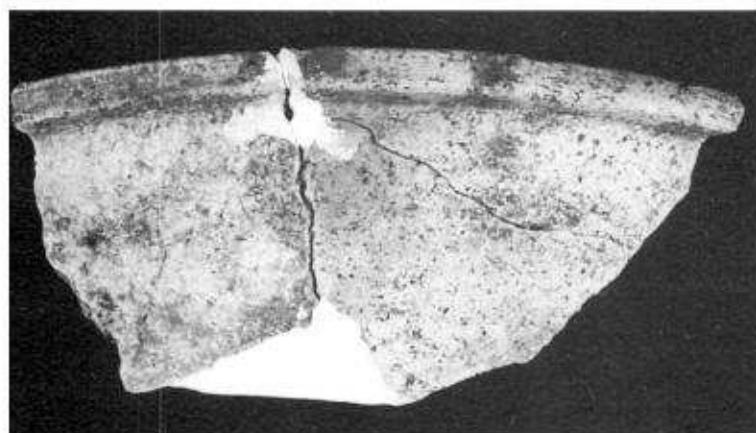


1. 3号住 4. 5号住-1 7. 5号住-4

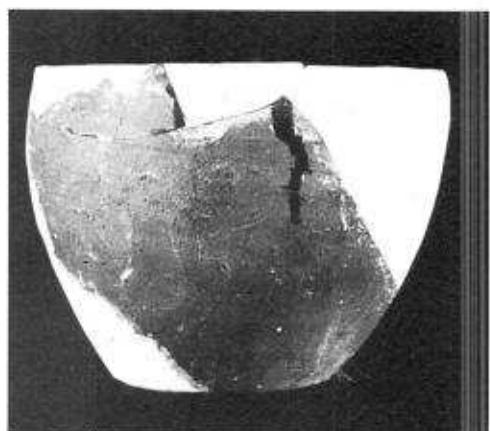
2. 4号住-1 5. 5号住-2 8. 5号住-5

3. 4号住-2 6. 5号住-3 9. 5号住-1の底の墨書

10. 6号住 任意縮少



3



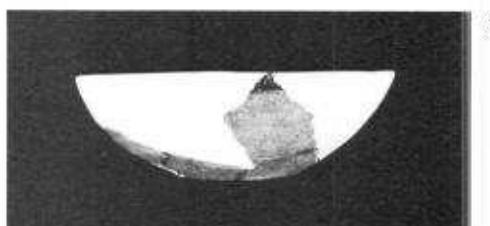
5



4



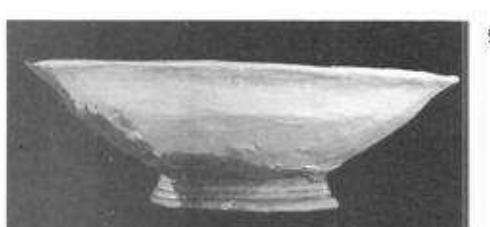
6



8

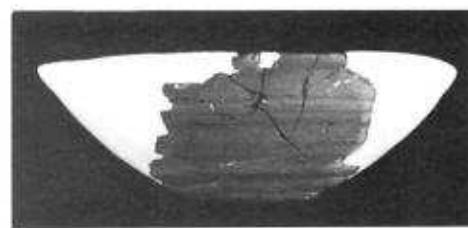
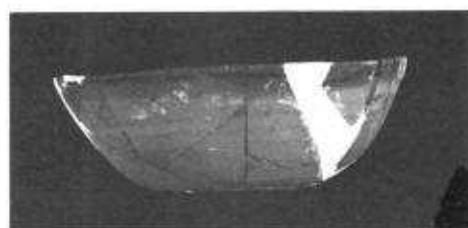


7



9

1. 7号住-1任意縮少 4. 7号住-4 S=約% 7. 9号住-2 S=約%
2. 7号住-2 S=約% 5. 7号住-5 S=約% 8. 9号住-3 S=約%
3. 7号住-3任意縮少 6. 9号住-1 S=約% 9. 9号住-4 S=約%



6

1. 9号住 - 6 S = 約 1%
2. 表採坏 S = 約 1%
3. 20号土壤 - 1 S = 約 1%
4. 20号土壤 - 2 S = 約 1%
5. 20号土壤 - 3 S = 約 1%
6. 墓書(2の坏)

第V地区



1



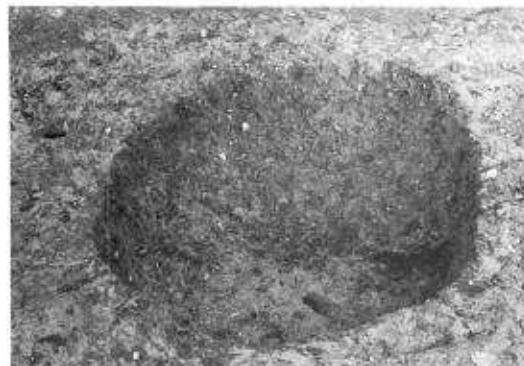
2



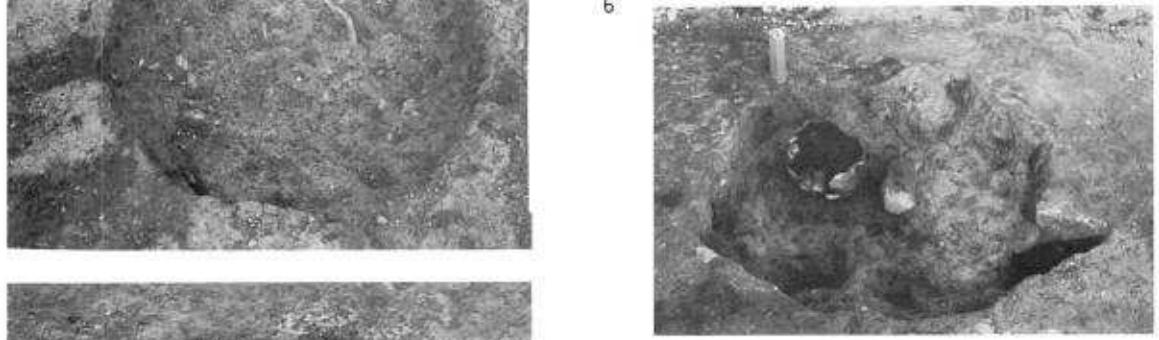
3



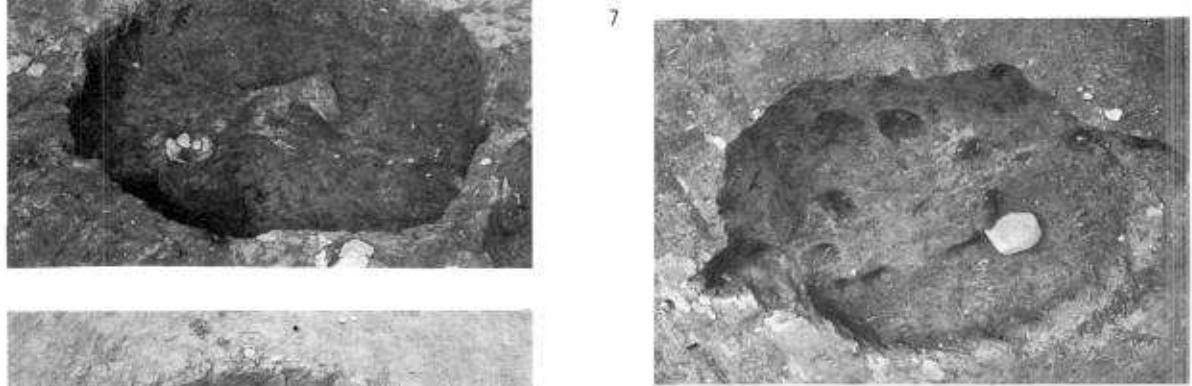
4



5



6



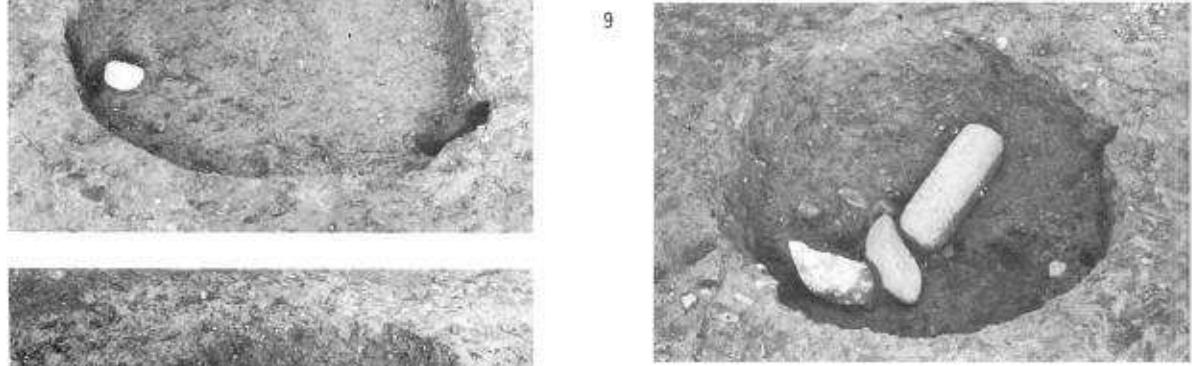
7



8

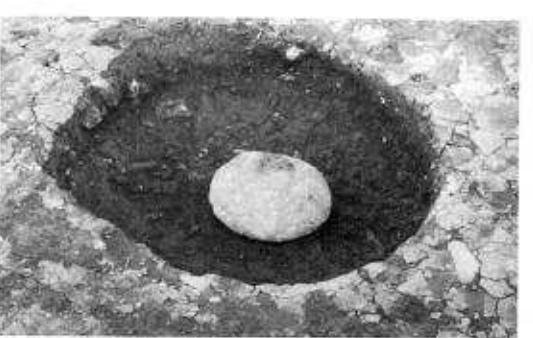
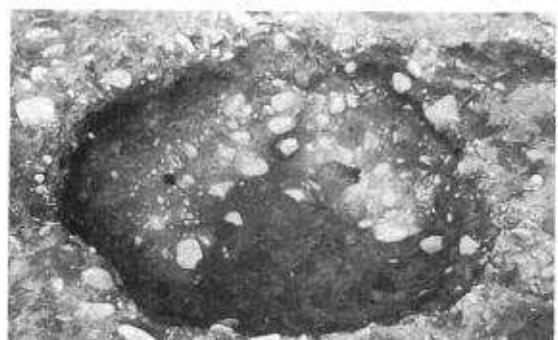
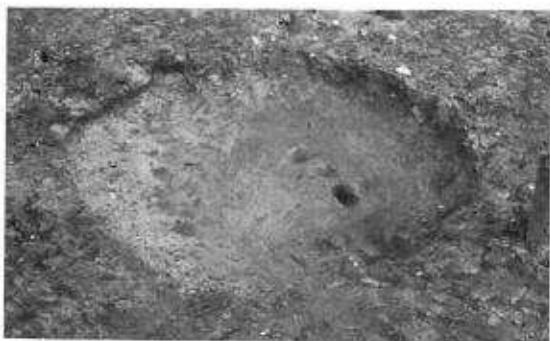


9

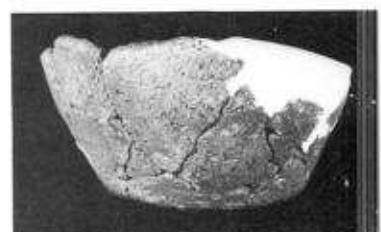
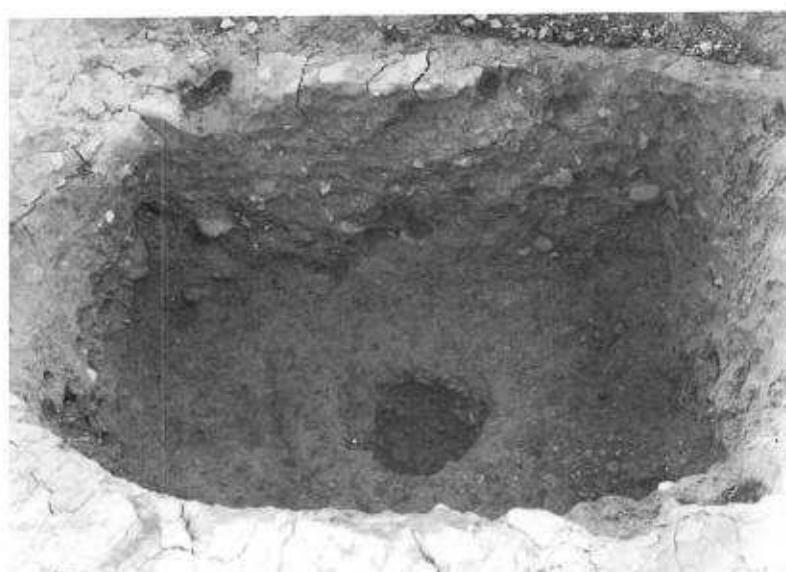


土壤

1. 1号	4. 7号	7. 12号
2. 2号	5. 10号	8. 13号
3. 4号	6. 11号	9. 14号



土壤	
1 . 17号	5 . 26号
2 . 21号	6 . 27号
3 . 22号	7 . 28号
4 . 25号	8 . 33号
	9 . 35号



土壙 1. 37号 4. 49号 7. 54号
2. 41号 5. 51号 8. 11号土壤土器 S = 約 1/2
3. 48号 6. 52号 9. 2号土壤土器 S = 約 1/2

第 III・VI 地区

1. 調査区全景
(東より)



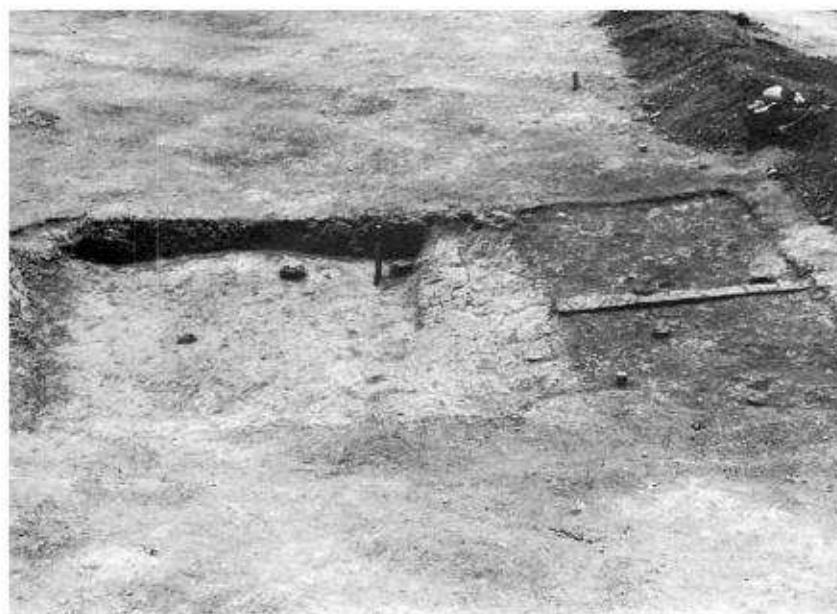
2. 壇穴住居跡
(西より)



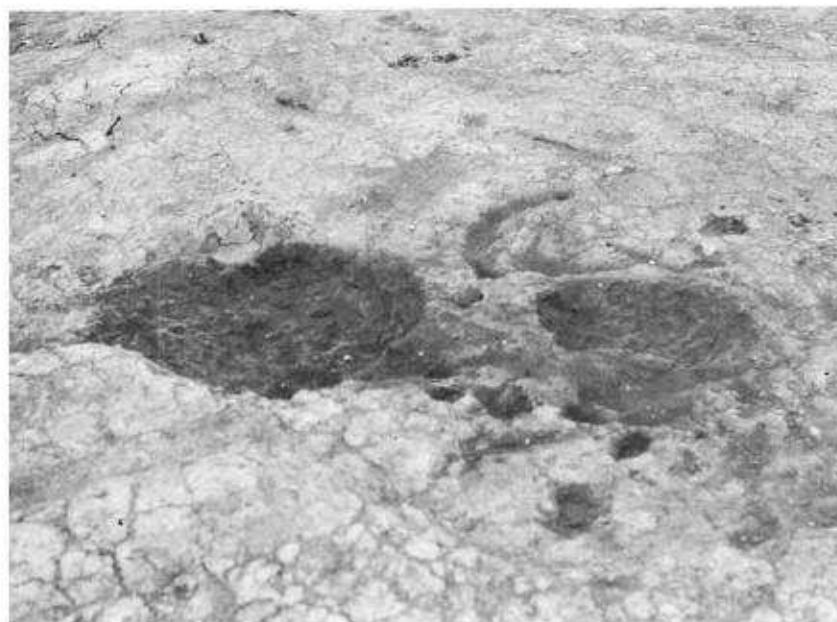
3. 土器出土状況



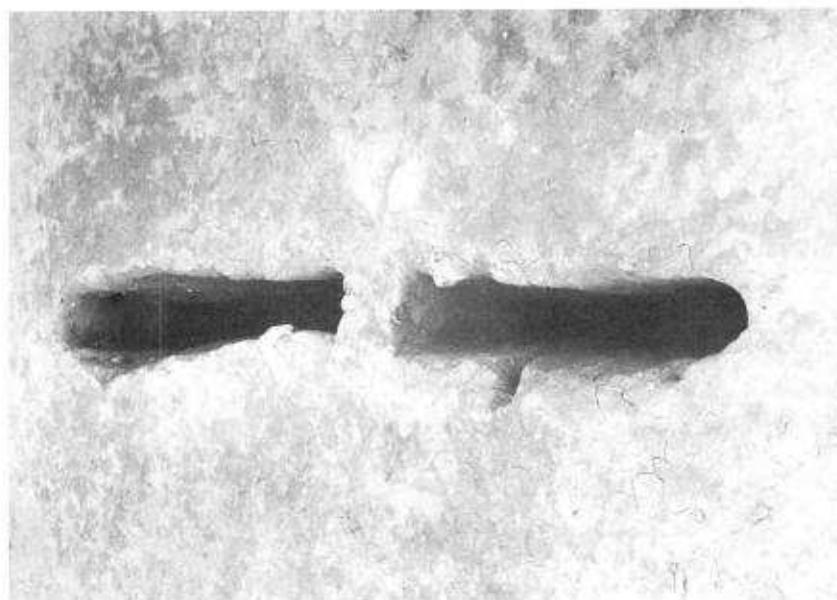
1. 竪穴状遺構
(束より)



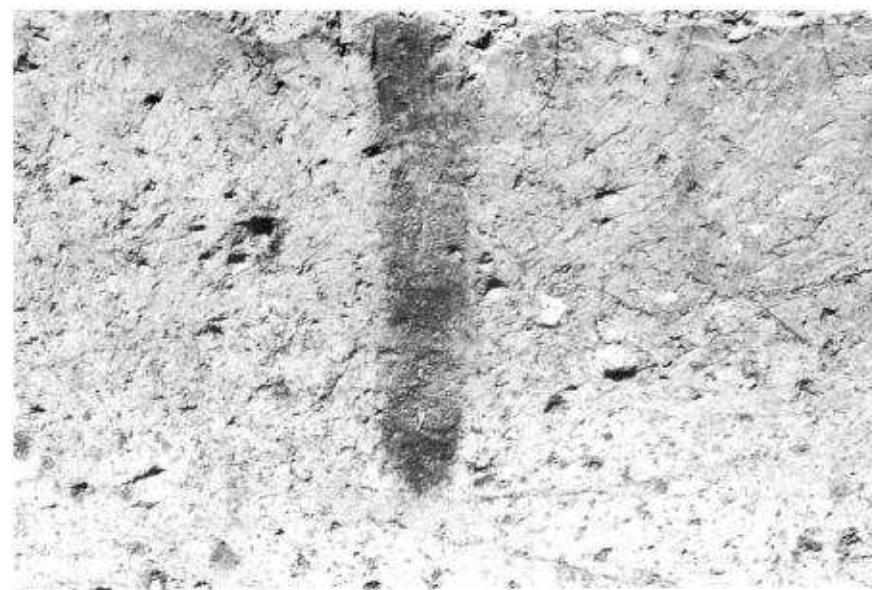
2. 焼土遺構



3. 第1号溝状土壤



1. 第1号溝状土壤断面



2. 第3土壤 (Fc 49)



3. 第4土壤 (Fa 49)



1. 1号溝全景（南より）



2. 1号溝断面



3. 2号溝石敷状の状況
4. 2号溝全景（南より）



1. 堀状遺構全景
(南より)

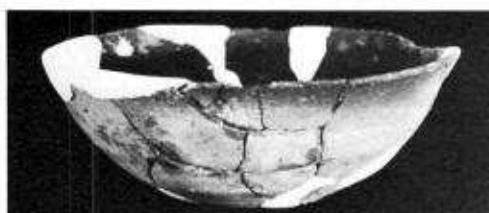


2. 堀状遺構断面



3. 堀状遺構断面

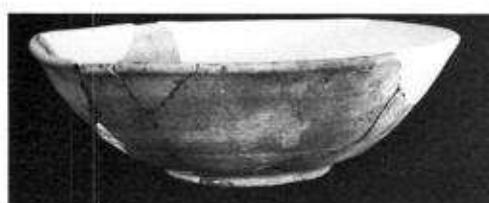




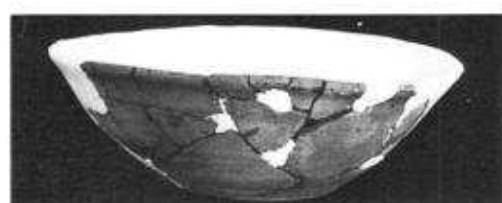
1



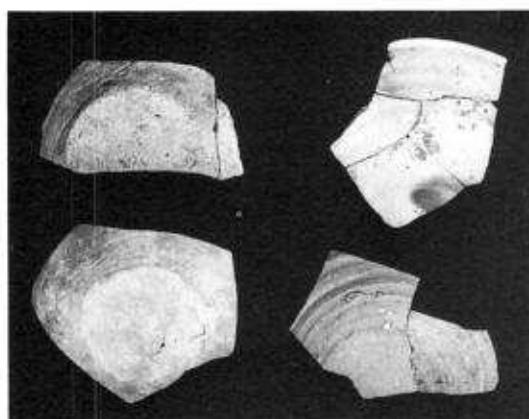
2



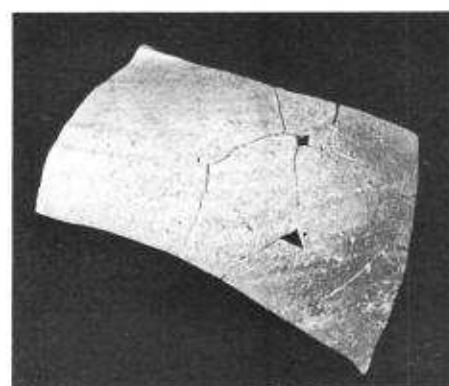
3



8



4



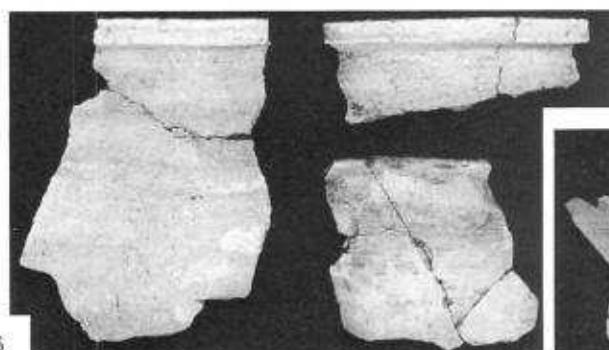
5

1 - 7 整穴住居跡（床面 埋土）

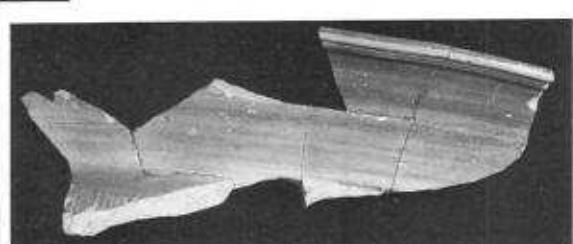
8. 焼土遺構（床面）

9. 整穴状遺構（埋土）

10-11 1号溝（床面、埋土）



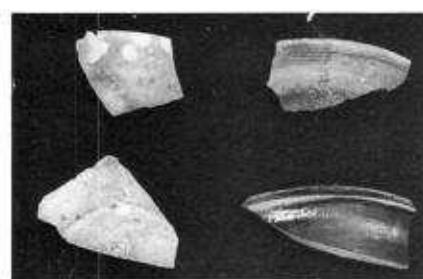
6



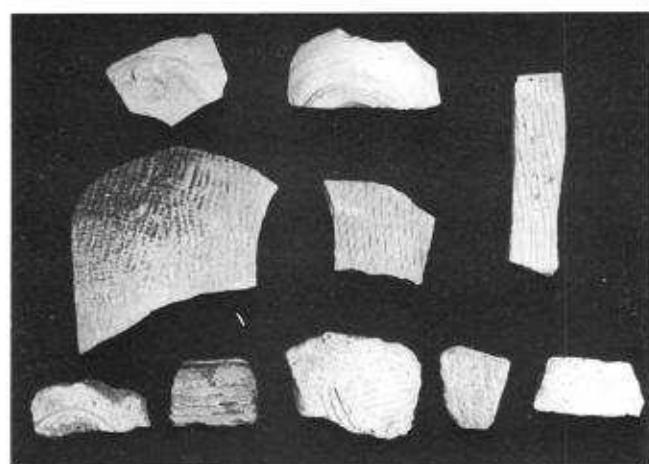
10



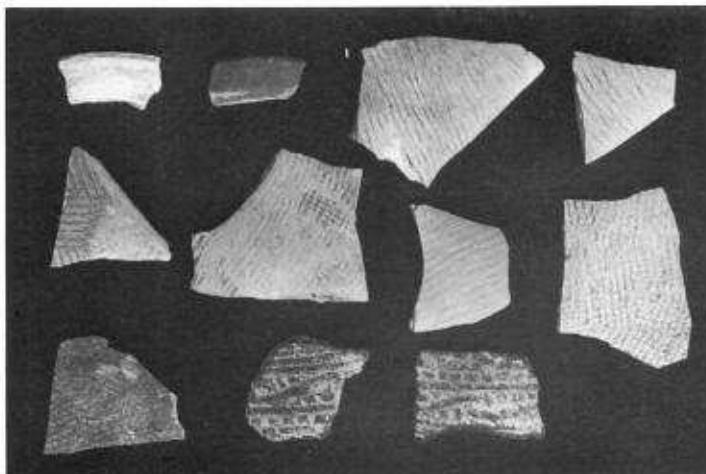
7



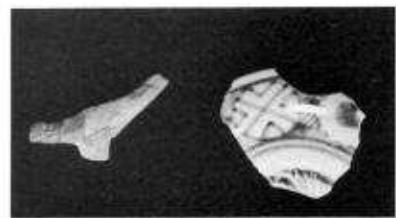
9



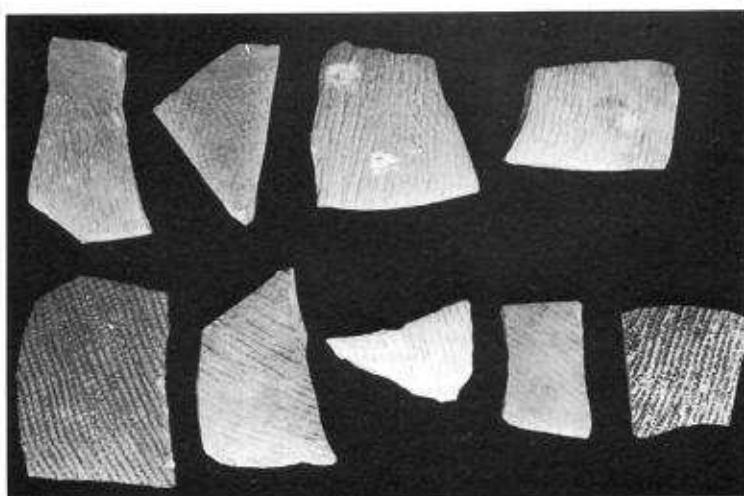
11



2



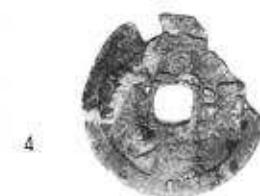
3



4



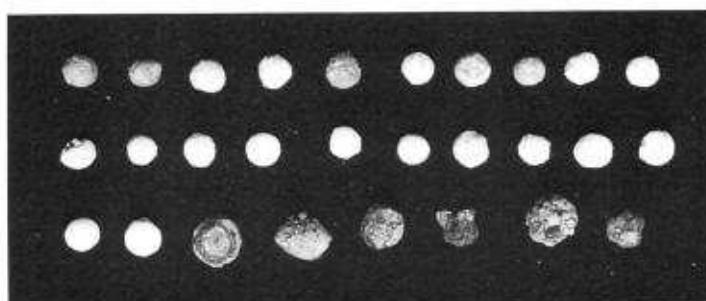
5



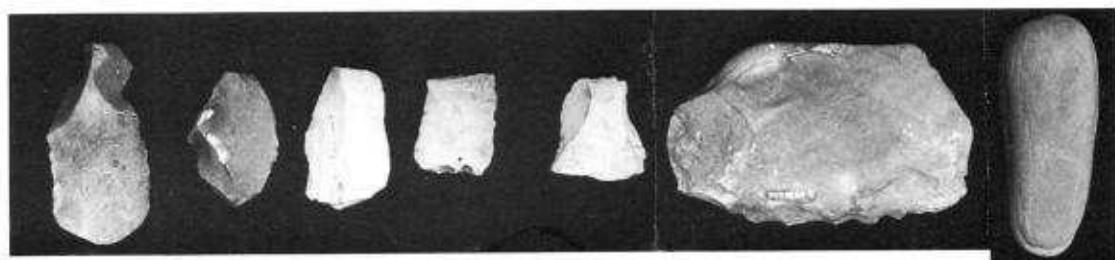
6



7



5



8

1. 2号溝出土 (床面 埋土) 2~4 表土出土遺物

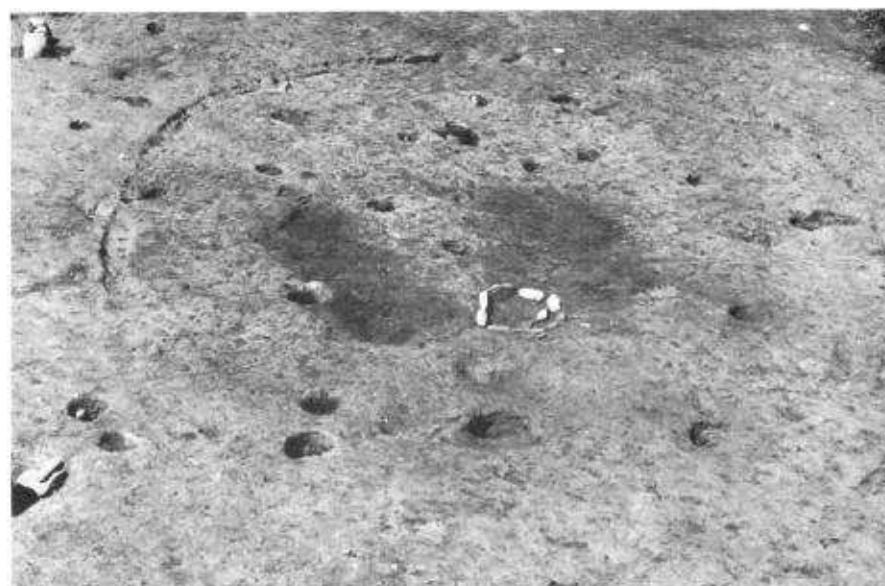
5. 鉛玉 鐵玉 6. 鐵製品 7. 古錢 (1号溝埋土)

8. 石器 (表土出土)

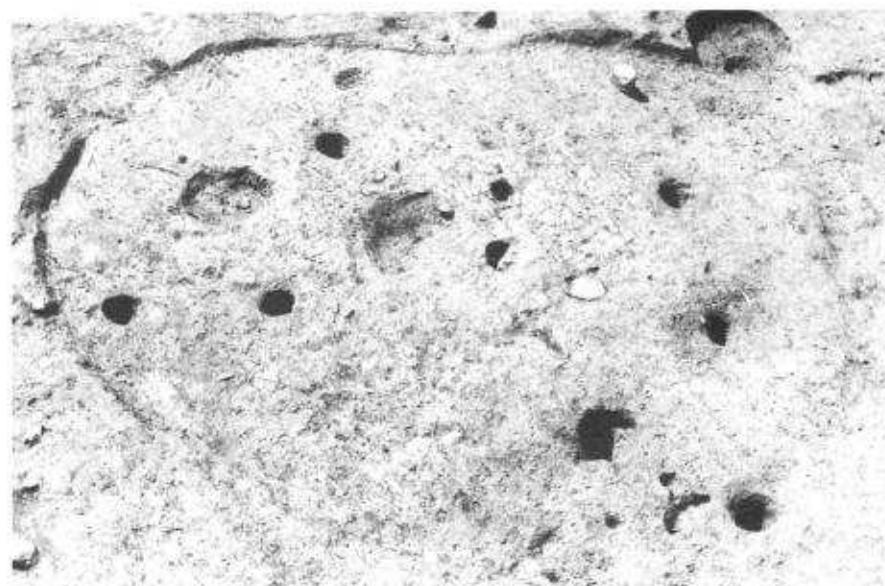
第VII地区



第7地区遠景
(東から望む)



第1、2竪穴住居跡
(Ah74-I・II住居跡)



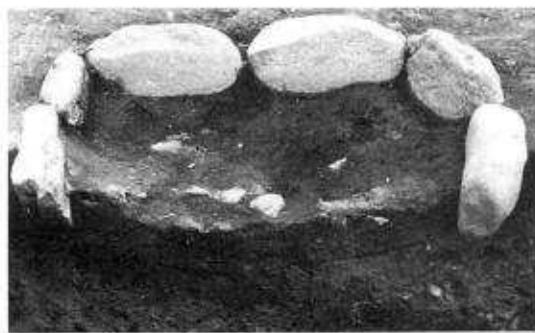
第3竪穴住居跡
(Ba80住居跡)



2



4



3



5



6

1. Ba 77炉跡周辺
2. Ah 74竪穴住居跡炉跡
3. Ah 74竪穴住居跡炉跡断面
4. Ba 77炉跡
5. Ba 77炉跡断面
6. Ag 80焼土遺構



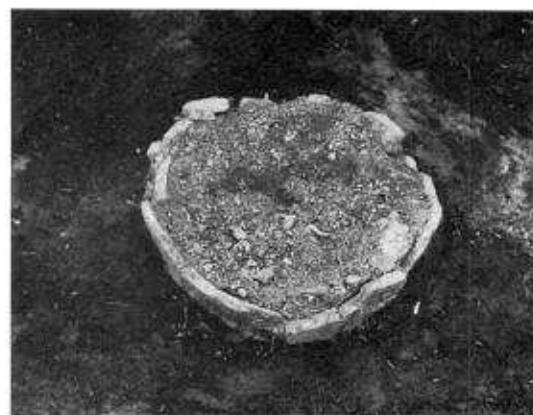
1. Ah 74堅穴住居跡埋設土器 (Ai 74埋設土器)



2. 第1埋設土器 (Ae 77埋設土器)



3. 第2埋設土器 (Ba 74埋設土器)



4. 第3埋設土器 (Ba 77埋設土器)



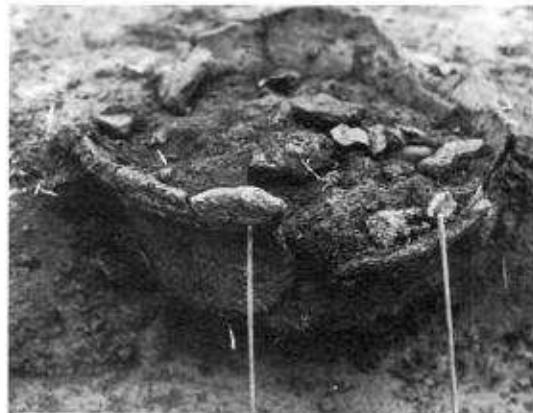
5. 第4埋設土器 (Ba 80埋設土器)



6. 第5埋設土器 (Ba 83埋設土器)



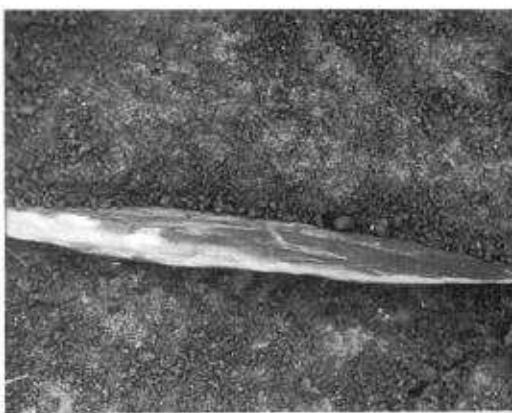
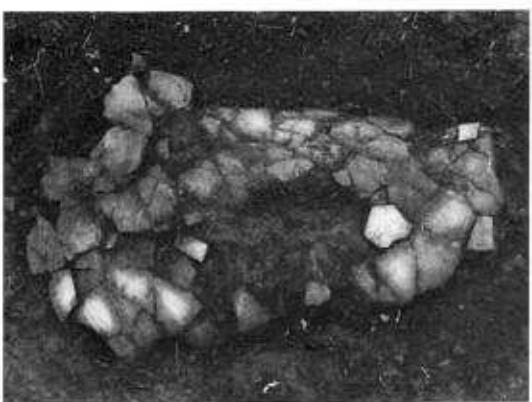
7. 第6埋設土器 (Bb 74埋設土器)



8. 第7埋設土器 (Bc 77埋設土器)

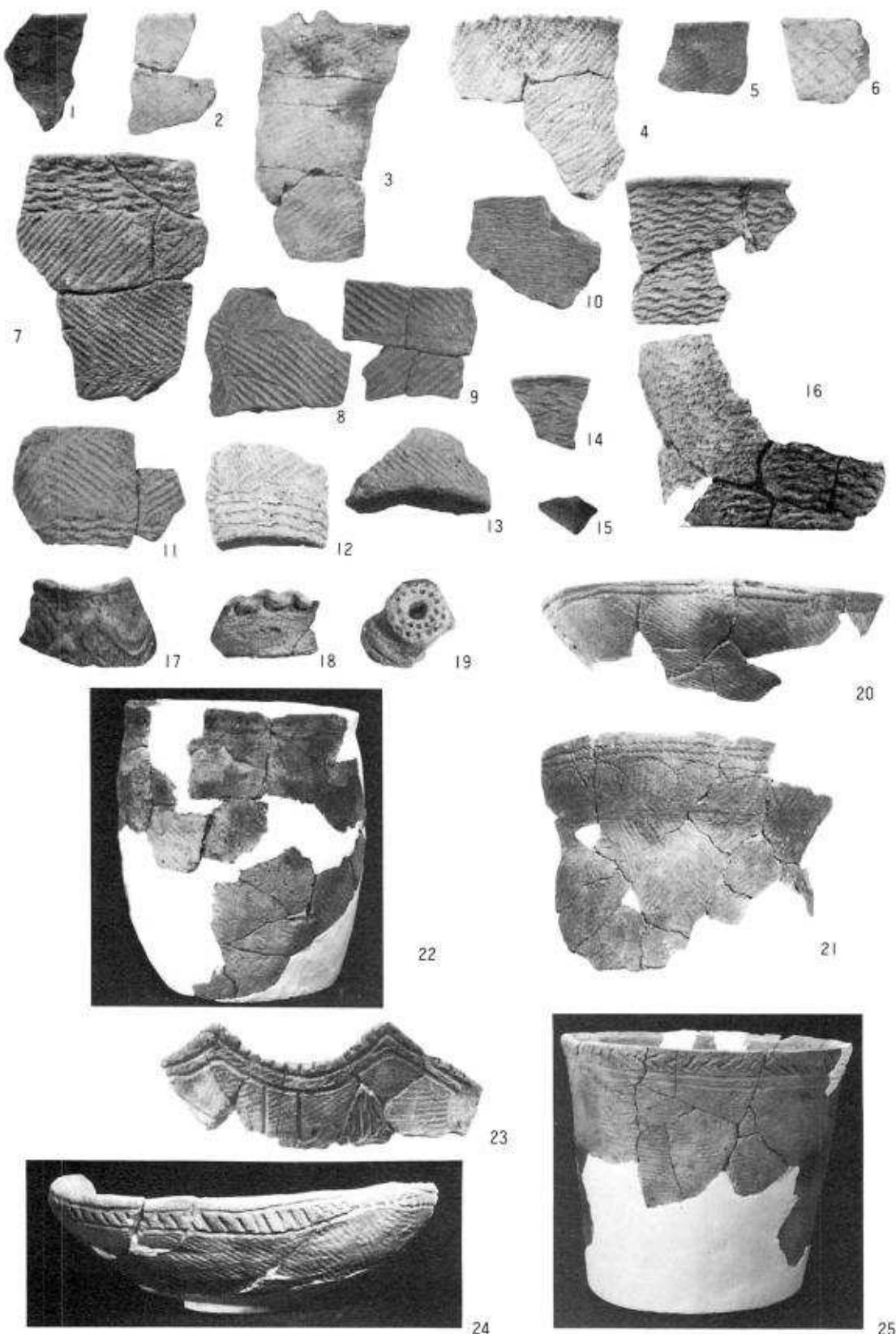
図版 3

埋設土器



図版 4

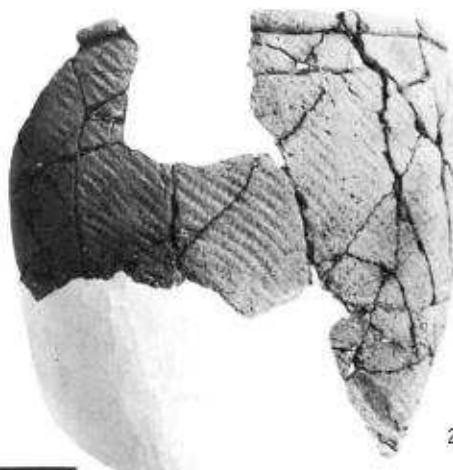
遺物出土
状況



1, 2 (I群1類a) 3, 4 (I群1類b) 5, 6 (I群1類c) 7~13 (I群1類d)

14, 16 (I群1類e) 15. (尖底部) 17~19 (I群2類) 20, 21 (II群1類) 22~25 (II群2類)

図版 5 (25は%、他は%)



26



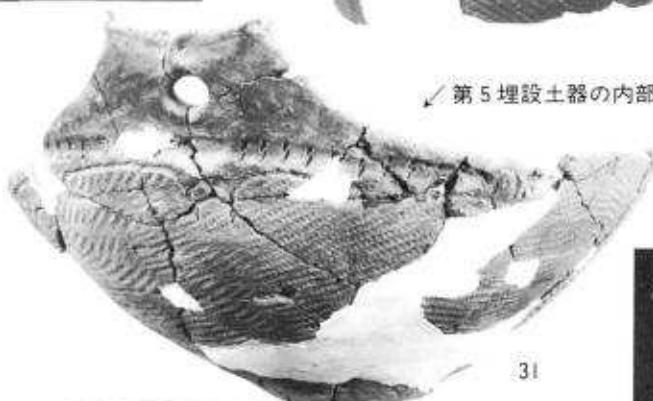
28



29



30



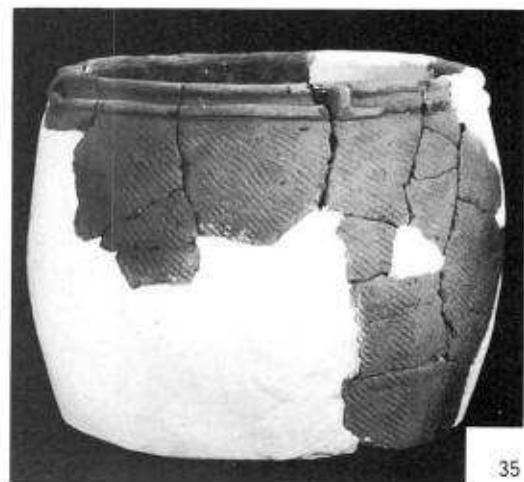
31



32



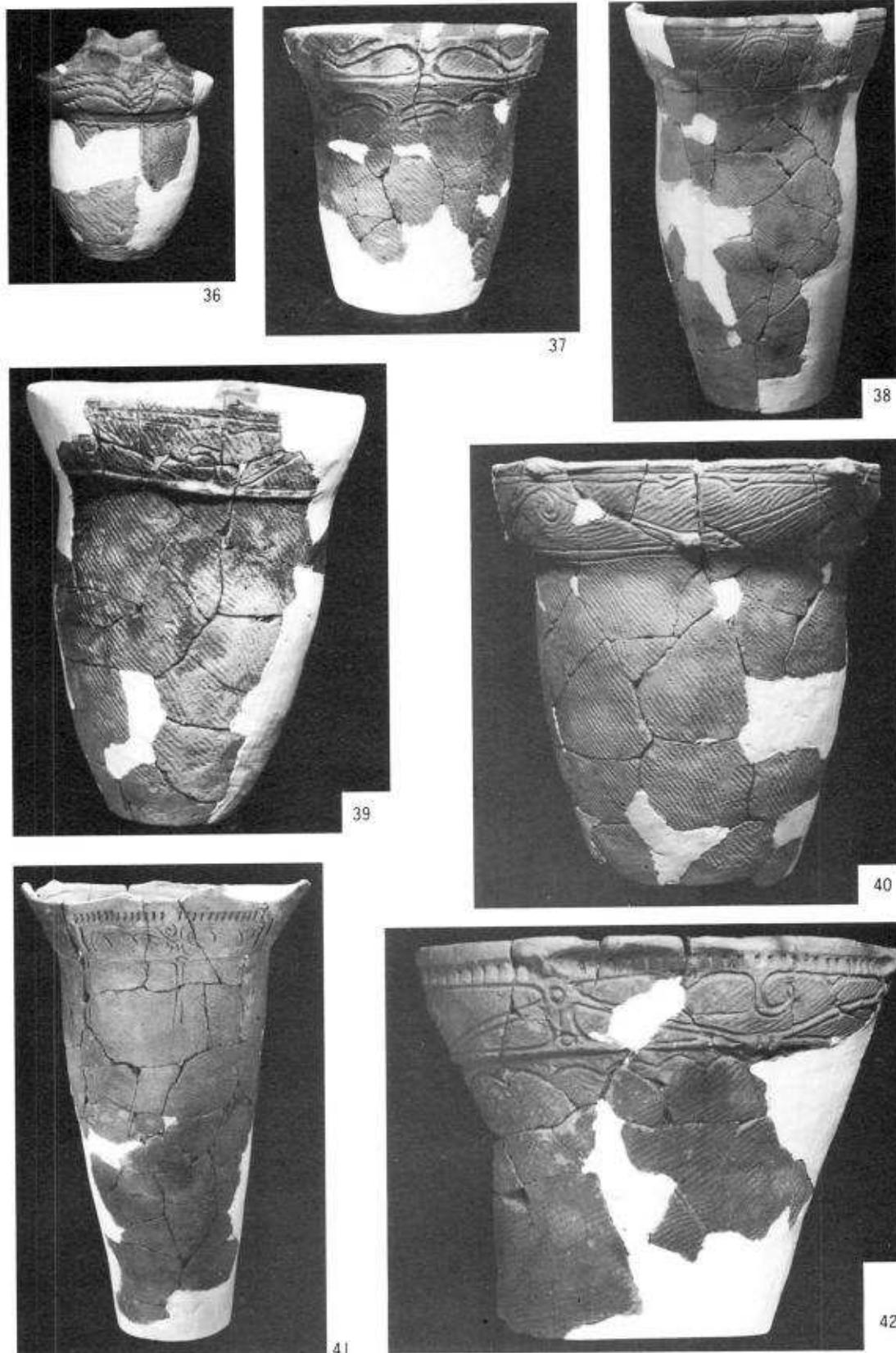
33



35

34

26. (II群3類) 27-31 (II群4類a) 32. (II群4類b) 33-35 (II群4類c)



36. (II群5類a) 37-40 (II群5類b₁) 41, 42 (II群5類b₂)

図版 7 (38と41は₁、他は₂)



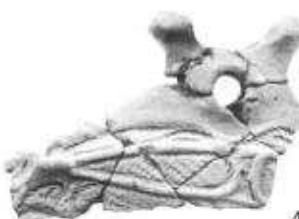
43



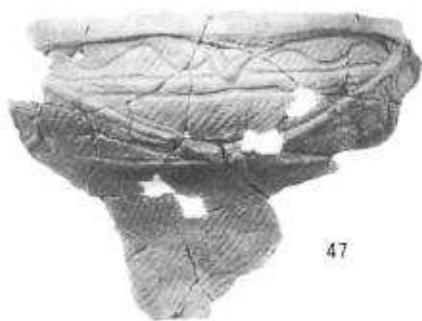
45



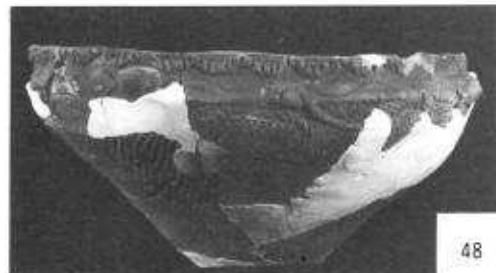
44



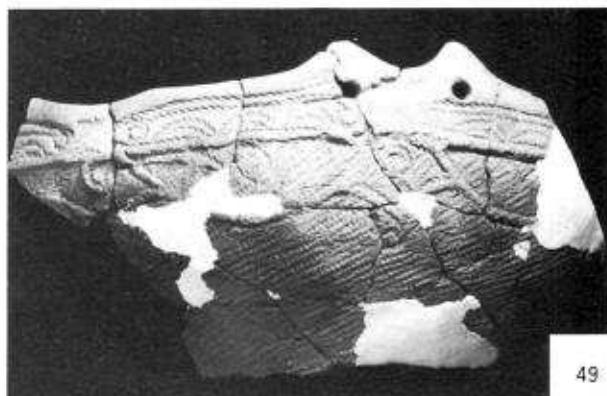
46



47



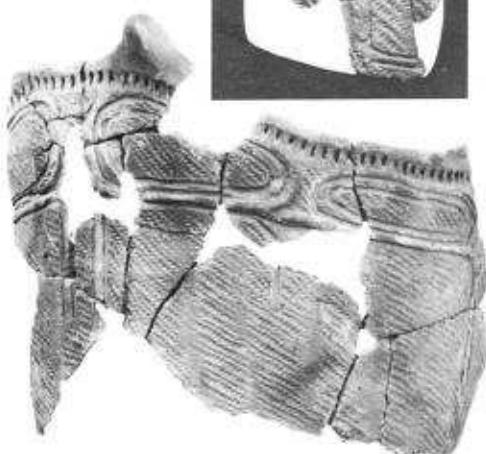
48



49



50



51

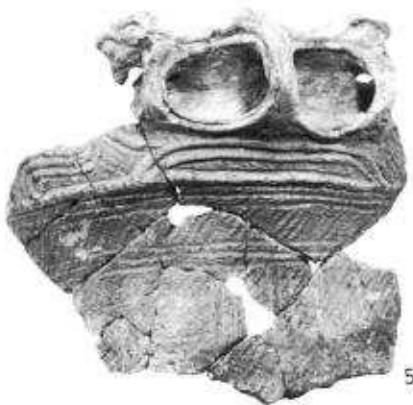


52

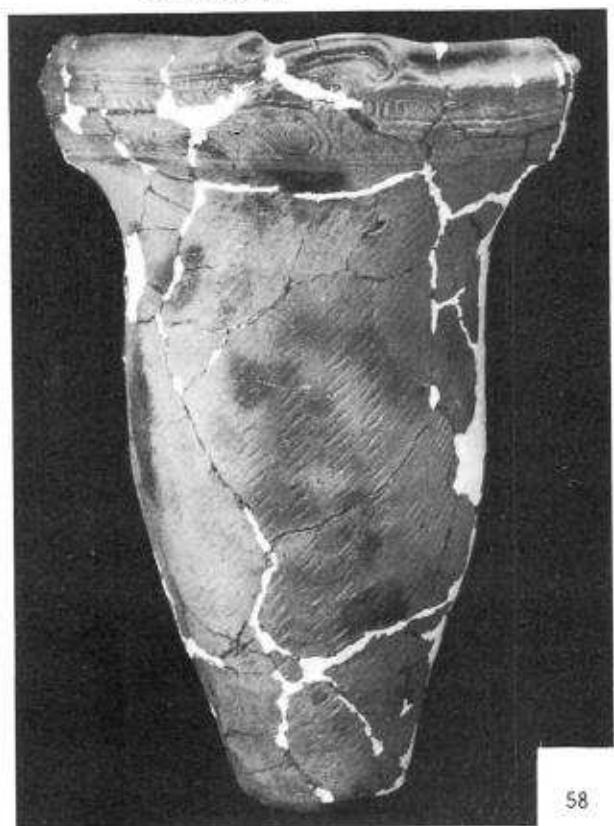
43, 44 (II群5類c₁) 45~49 (II群5類c₂) 50. (II群5類c₄)51. (II群5類d₃) 52. (II群5類d₂)



第6 埋設土器

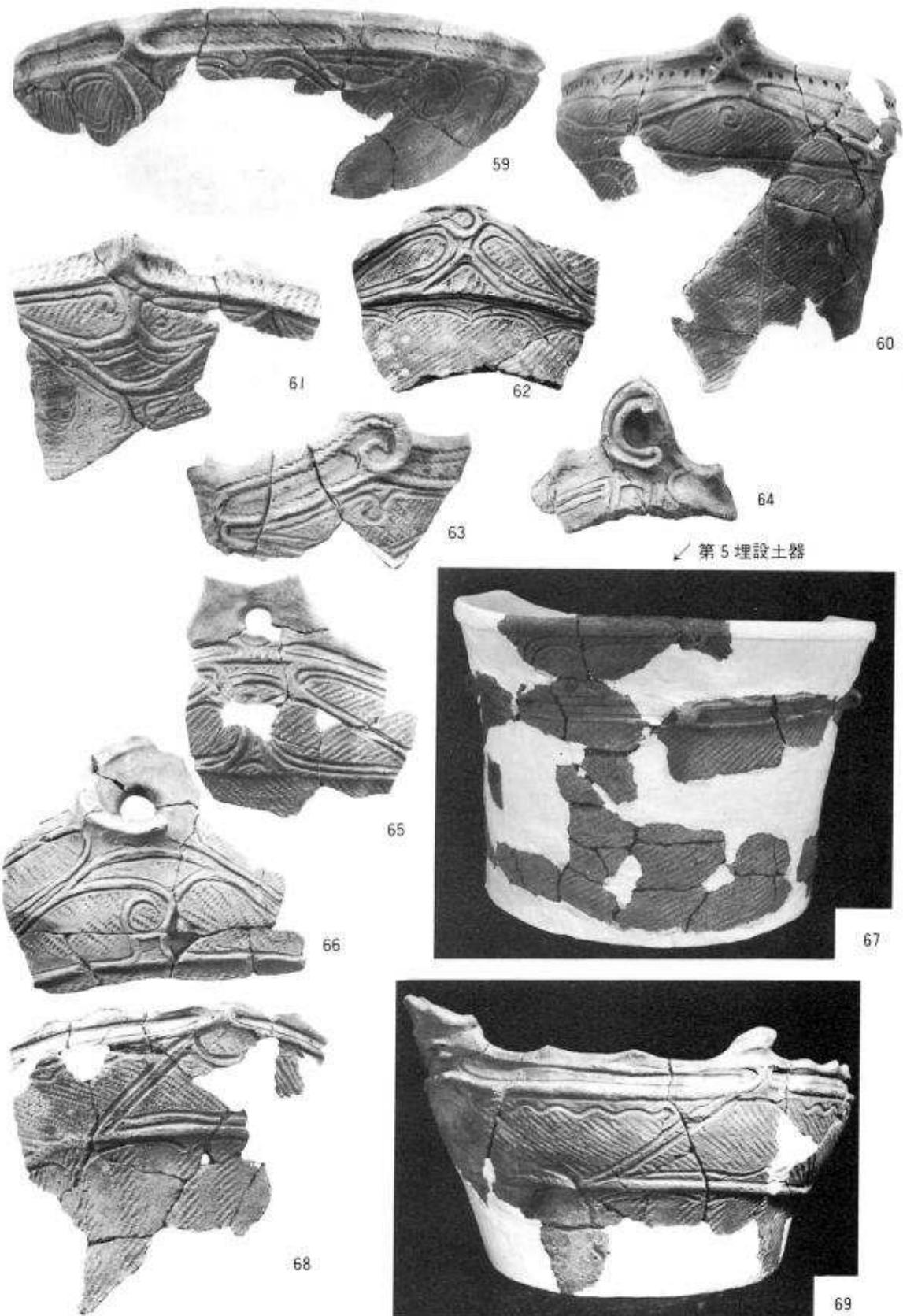


第3 (Ba 80) 住出土



53~58 (II群 5類 d₂)

図版 9 (55と58は $\frac{1}{2}$ 、他は $\frac{1}{4}$)



59. 61. 63 (II群5類d₂) 60. 65. 67-69 (II群5類d₃)

62. 64. 66 (II群5類d₁)



70



71



72



73

74

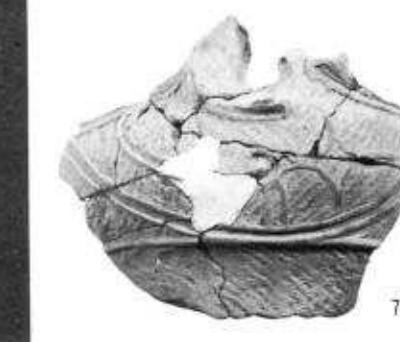
75



76



77



78

79

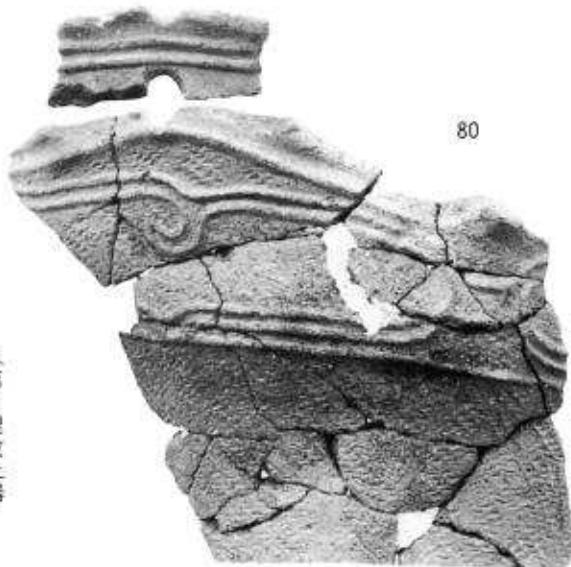


70, 71, 73~75, 77, 78 (II群5類e₁) 72, 76, 79 (II群5類e₂)



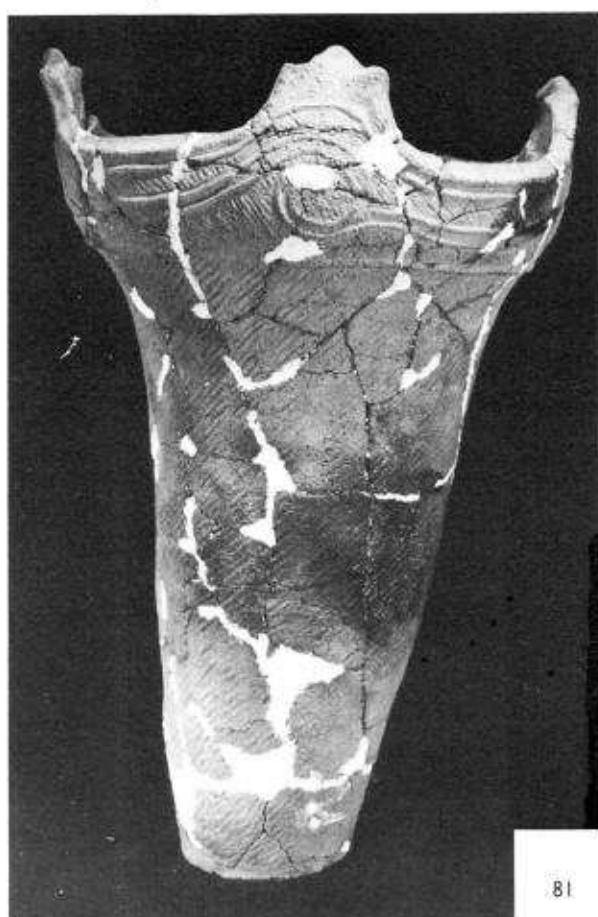
79

第2埋設土器



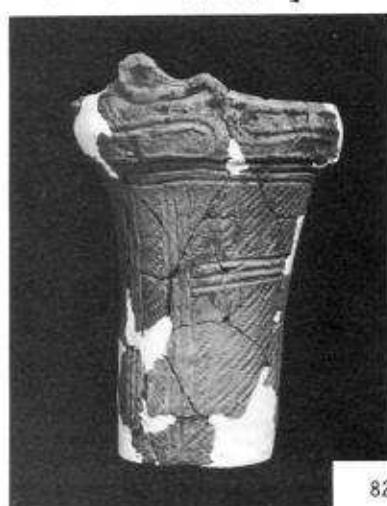
80

第3(Ba.80)住出土



81

第6埋設土器



82

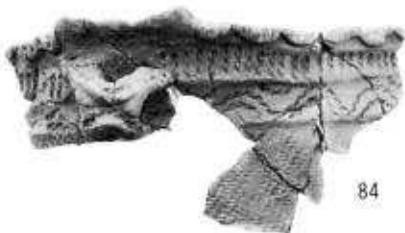
第3(Ba.80)住出土



83

79, 82, 83 (II群5類e₁) 80, 81 (II群5類e₂)

図版 12 (79と81は1%他は2%)



84



85



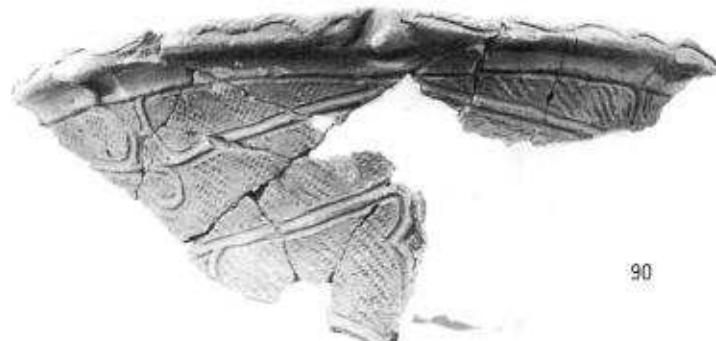
86



87



88



90



89



91

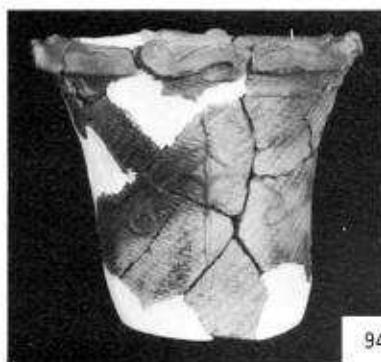


92

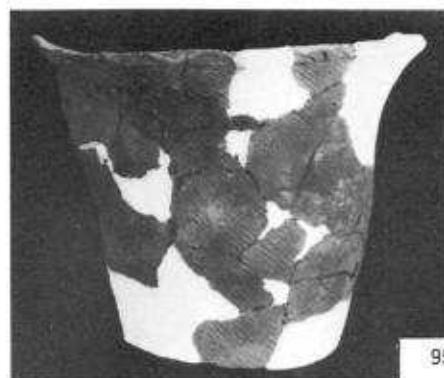


93

84-86 (II群 6類a) 87-89 (II群 6類b) 90-93 (II群 6類c)



94



95



96



97



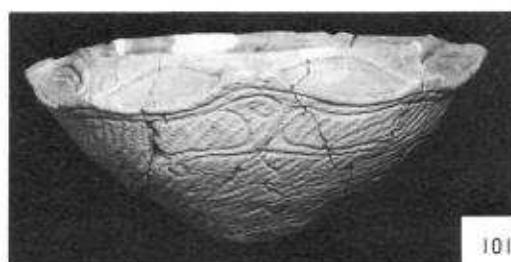
98



99



100



101



102



103



105



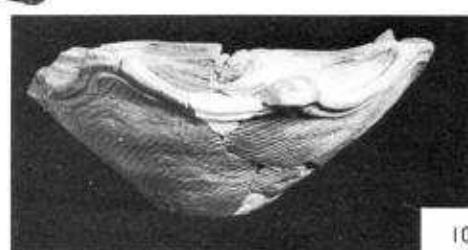
106



107



108



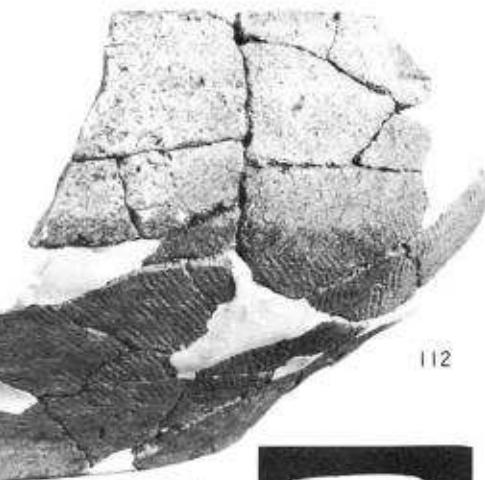
104



109



110



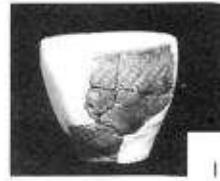
112



111



113



114

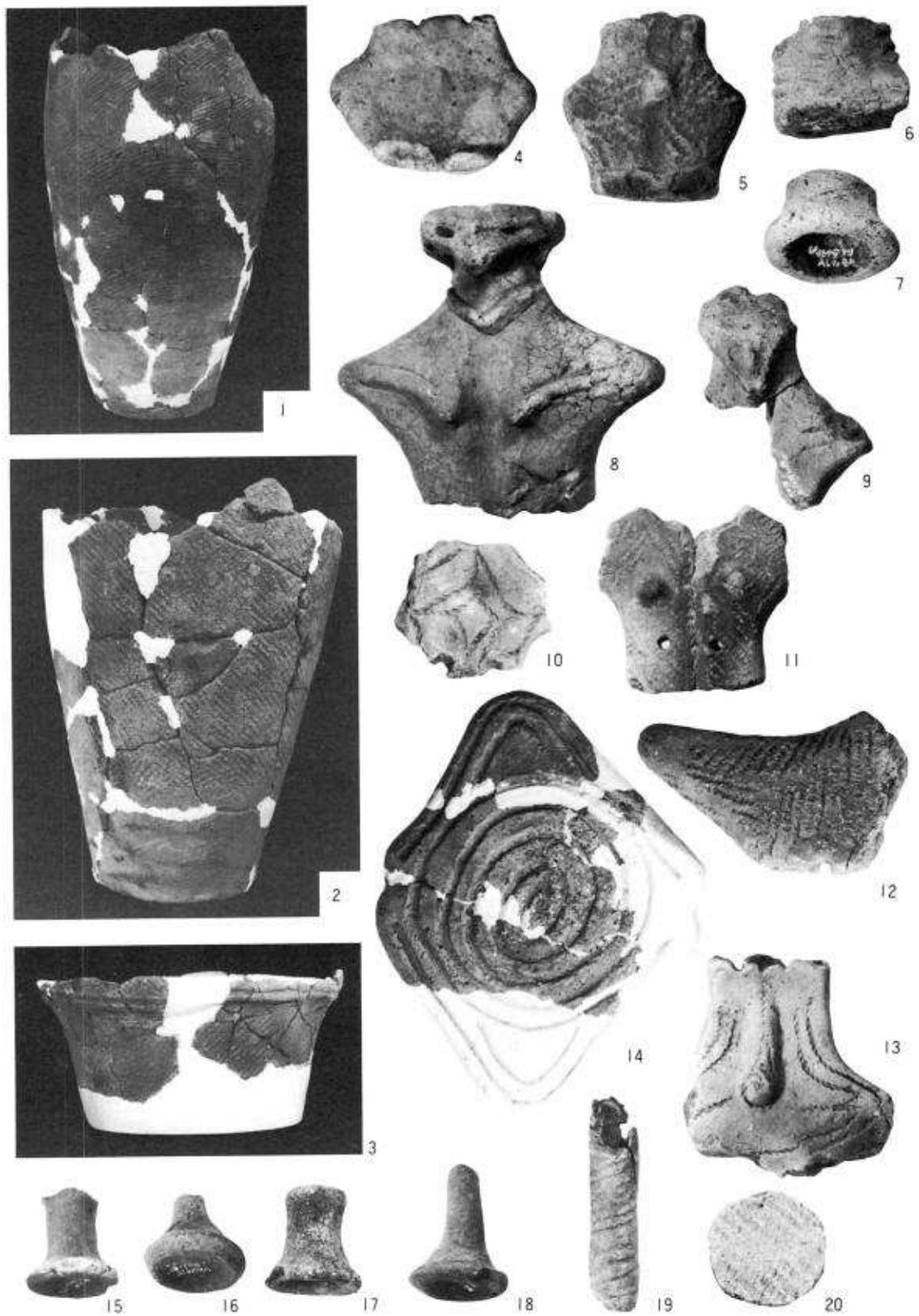
94-98 (II群 6類c) 99-104 (II群 7類)

105-109 (II群 8類)

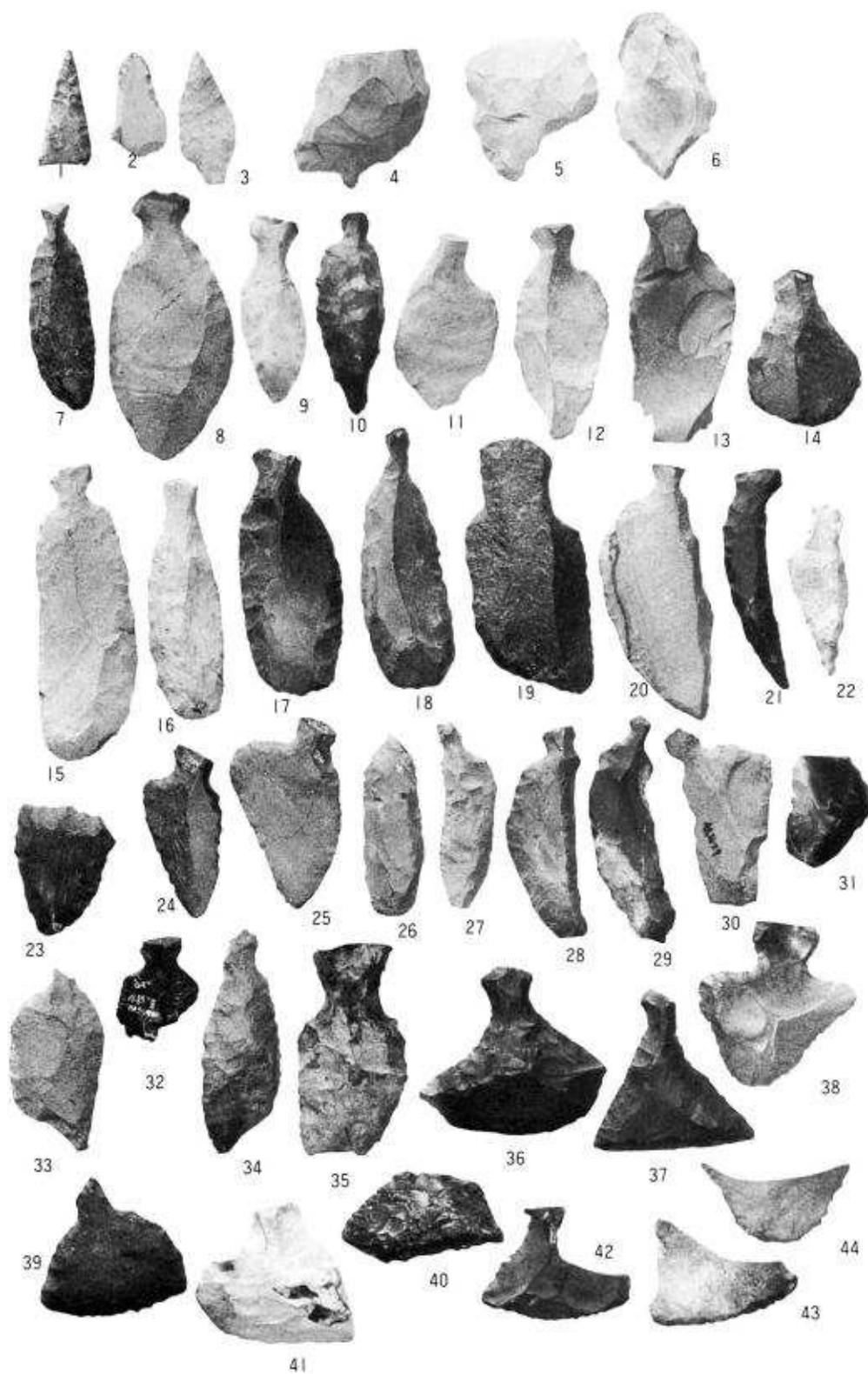
110-114 (II群 9類)

113, 114 (袖珍土器)

図版 14 (95は%, 他は%)

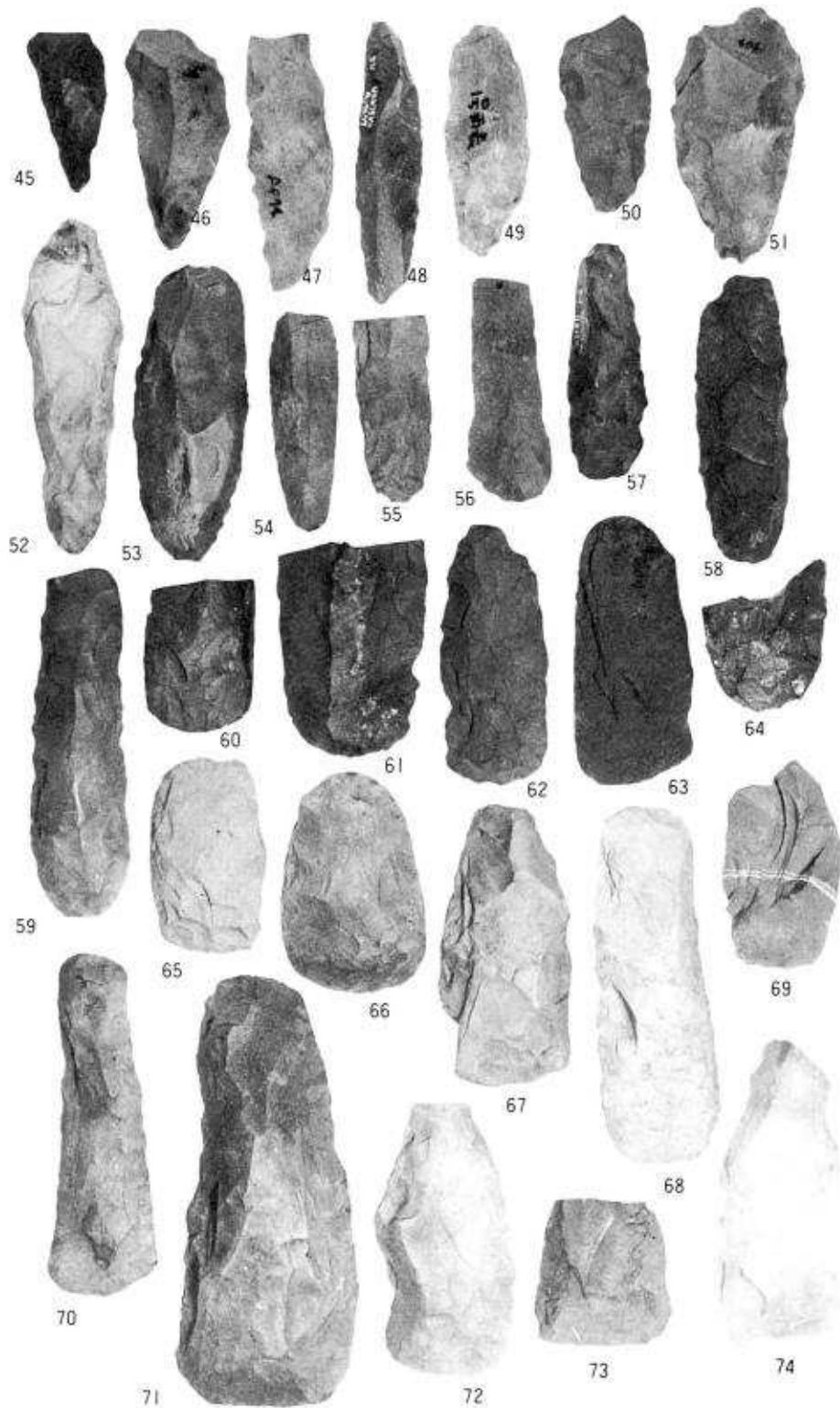


1. 第1埋設土器 2. 第4埋設土器 3. 第7埋設土器 4~13(土偶)
 17. (耳飾り?) 15, 16, 18(スタンプ状土製品) 14. (土版) 19. (管状土製品) 20. (土製円盤)
 図版 15(1、2は1/2、3は1/4、4~20は1/2)

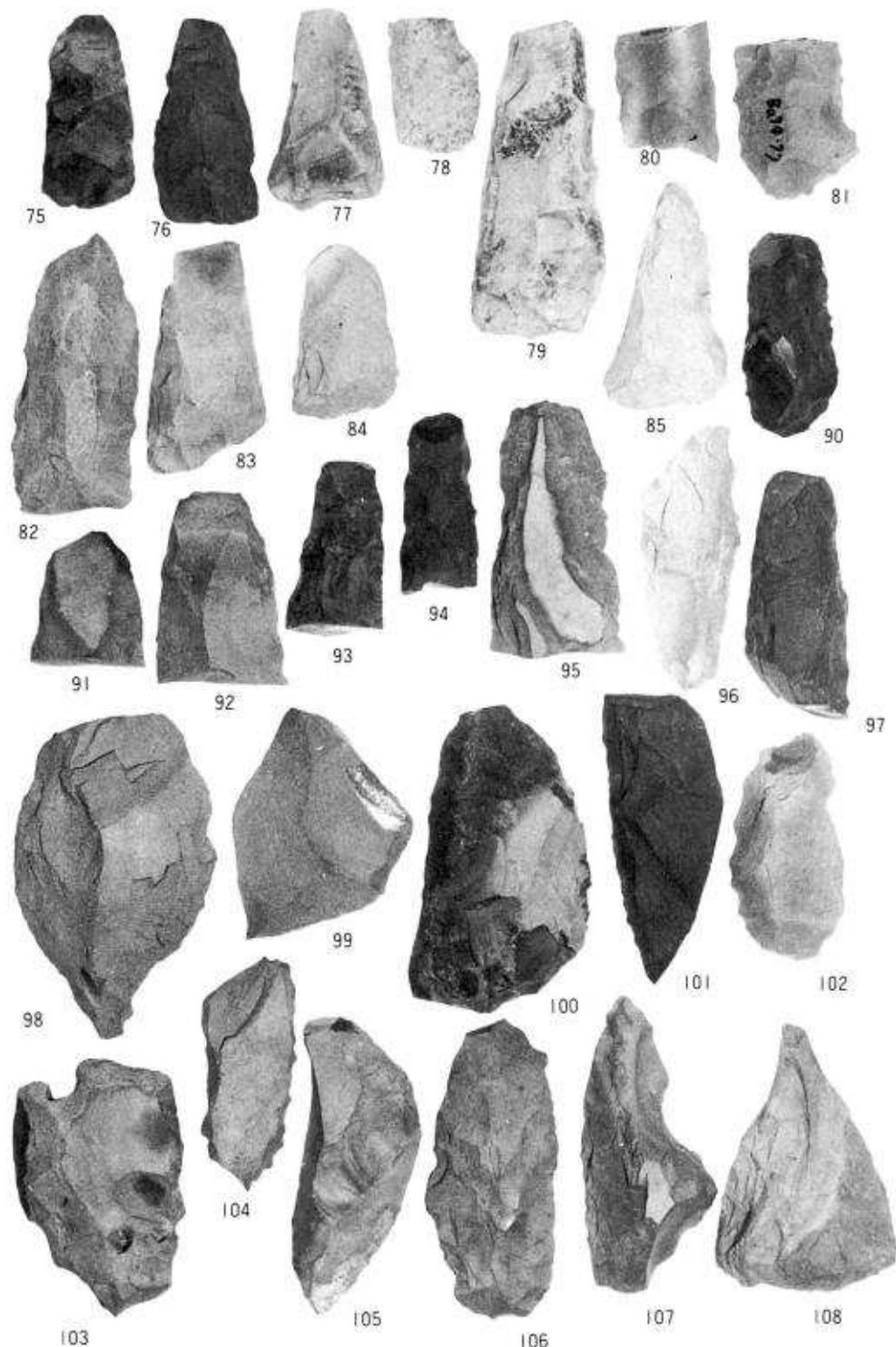


図版 16

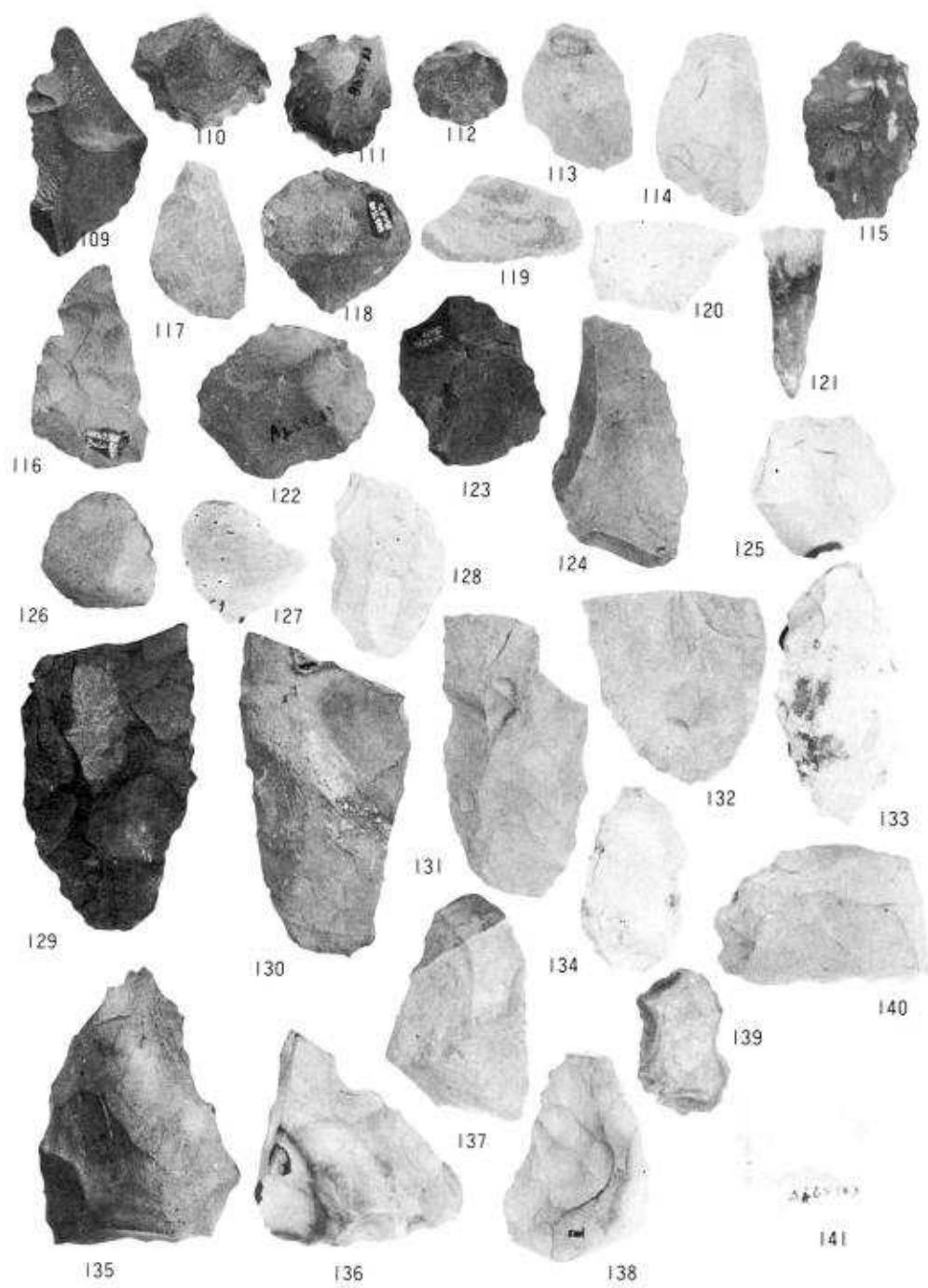
1～3 石鏃 4～6 石錐状石器 7～44 石匙



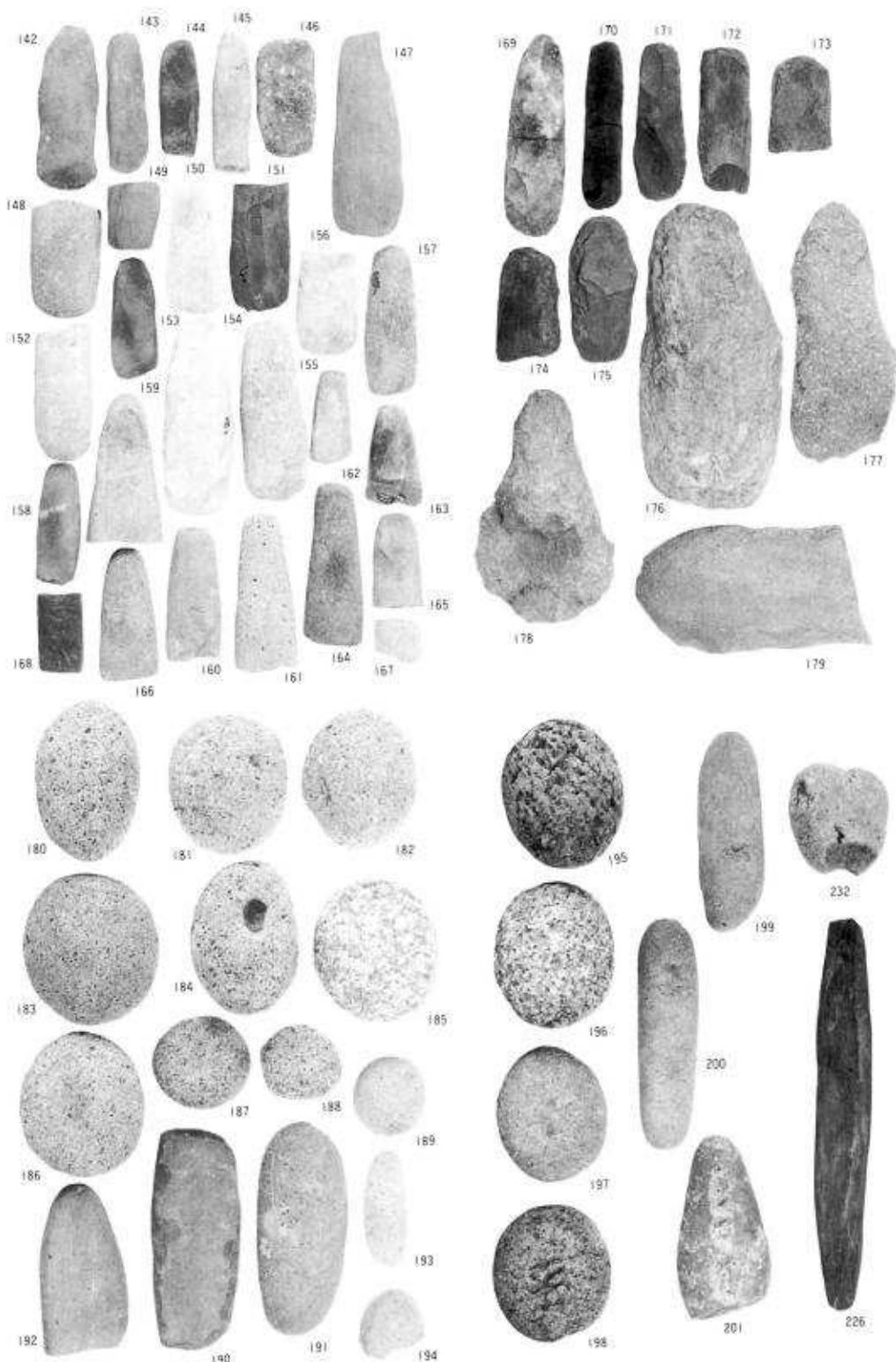
図版 17 45-74石器



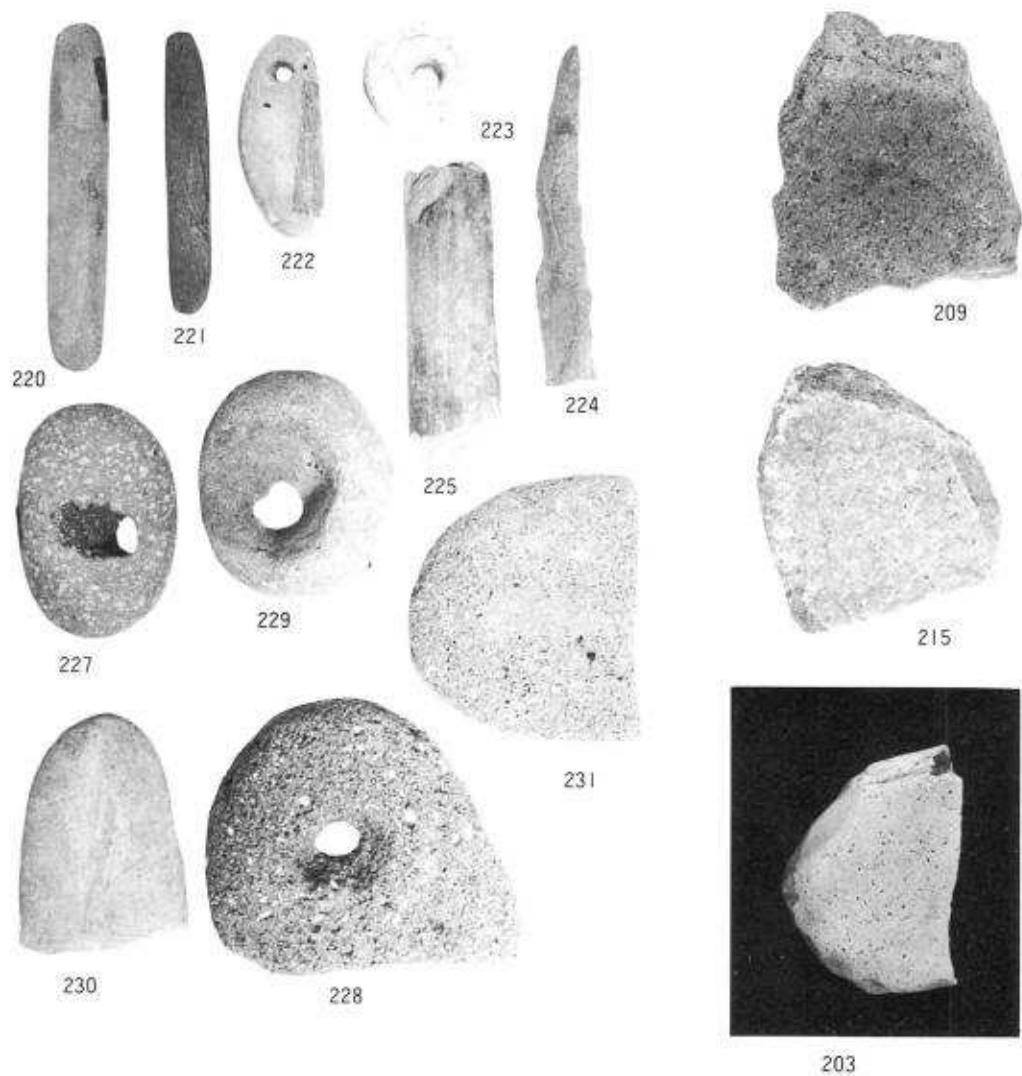
図版 18 75-97石箇状石器 98-108搔器



図版 19 109-112 搗器 113-121 搗器（削器？） 122-128 搗器（使用痕を有する剥片）
129-141 搗器（その他）



図版 20 142～168磨製石斧 169～179打製石斧 180～194磨石
195～201凹石 232石錘 226石剣



図版 21

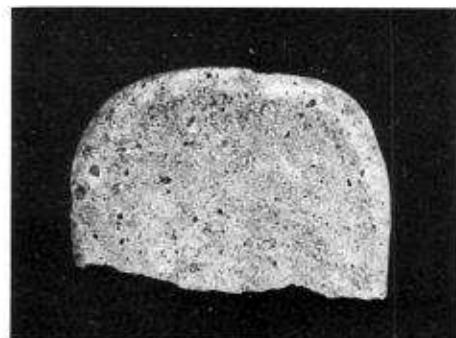
202-215石皿

202

220, 221小型磨製石製品 222, 227~229有孔石製品 224刺突具

225石剣 230, 231線刻を有する石製品

砥石



岩手県教育委員会事務局文化課職員一覧
(埋蔵文化財関係)

文化課長	熊 谷 正 男	臨時職員	亀ヶ森 恒 子
課長補佐(総務)	鎌 田 良 悅		藤 原 周 子
(調査) 服 部 完 郎			後 藤 裕 子
庶務係長	鈴 木 康 之		石 田 千鶴子
主 事	鹿 糸 幸 弘		村 井 隆
	佐 藤 伸一郎		小 林 史 子
主任文化財主査	嶋 千 秋		村 上 良 子
文化財主査	菊 地 郁 雄		小 林 三千江
技 師	佐々木 勝		菊 池 純 子
			鈴 木 優 子
			赤 坂 恵 子
縦貫自動車道調査班			
文化財主査	吉 田 努		秋 葉 良 子
	三 上 昭		前 田 隆 子
	斎 藤 淳		田 中 ヒ デ
	昆 野 靖		黒 田 アヤ子
	相 原 康 二		伊 藤 ふ ク
文化財調査員	八重樫 良 宏		及 川 容 子
	狩 野 敏 男		長 坂 麗 子
	田 村 壮 一		中 山 久 子 (6月21日退職)
主 事	石 川 長 喜		佐々木 信 子 (9月30日退職)
			高 橋 英 子 (10月16日退職)
臨時職員	木 村 キエ子		
	桜 井 芳 彦		
	相 星 輝 子		
	高 橋 生 子		
	小 西 エイ子		
	漆 原 悅 子		

岩手県文化財調査報告書第58集
東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅹ

昭和56年3月31日 発行

発行 岩手県文化財愛護協会
盛岡市内丸1
印刷 株式会社 富士屋印刷所
盛岡市下ノ橋町2-9 TEL 0163-6391